京城日報

三十日夕刊

○總統府國務院確執

總統府と國務院とは意志の疏通を缺き事毎に物議を生じつゝあり衝突の根底は頗る深く容易に融和し得ざるものゝ如く段總理は近頃黎總統に面會せず重要政務を獨斷にて處理しつゝあり專横の嫌ありとの批難高し（北京電報）

○羅軍主力墺境集中

宣戰を布告せる羅馬尼の戰鬪部隊は續々墺國々境に向つて進軍中にして主力を此方面に集中しつゝあり（紐育電報）

●失敗せる宗社黨

蒙古軍窮境に立つ

巴布札布張率の蒙古軍が折角滿洲に進出し來りながら孤立無援の悲境に陷り遂に退却の外なき始末となれることは既に電報を以て報道せし所なるが事の愛に至れるは滿洲宗社黨の案外無勢力なりしと他に事情の存することにて此の一挙と共に彼等宗社黨の計畫も

▲全然挫折し 殊にその一類のものが我が租界又は附屬地內に出入し日支關係の上に好ましからざる行動を敢てするより柴外務參政官の來滿と共に彼等を租界及び附屬地より一掃する事となりし爲め益々その活動の自由を失ひ共和國軍の旗を擁し金鼎臣一派のもの若干の涙金を受けて解散するに決し蕭颯たる秋風と共に彼等はとゝに没落の餘儀なき運命に逢著せり異に首領舒榮勳が長春において暗殺されしが如きも同黨不振の一因たりしなり尤も升允一派のものは猶ほ一部の蒙古王を結托し種々の手段を講じて

▲軍器を輸送 し近く更に一旗擧げんと目論見つゝあるも果して能く頽勢を挽回し得るや否やは頗る疑問とする所なり翻つて蒙古軍の現狀如何といふに彼等は連結事を共にすべき筈なりし宗社黨が右の如き始末なりし爲め遂に奈何ともする能はず日本の好意斡旋と奉天省の日本人軍事顧問の周旋により支那軍との間に休戰協約をなし空しく漠南蒙古に歸旋せざるを得ざる事となりしが其の郭家店退却に際し支那軍が休戰協約に基き之を追擊せざる乎といふに道は甚だ怪しき事にて

▲現に郭家店 に蒙古軍を包圍せる二十七、二十八師の優勢なる支那軍は寧もその包圍を緩めず加ふるに熱河都統姜桂題は開魯又は赤峯において、孟吉林督軍は伊通及び農安一帶において昇黑龍督軍は大賚において共々出兵をなし巴布札布の蒙古軍を邀擊せんとし吉黑兩省には戒嚴令をさへ布ける始末なれば支那軍の退却蒙軍不追擊は當にならず隨つて蒙軍の前途甚だ不安なるものあり盟王と仰がれし達賚王は既に一軍と共に郭家店を去りしも巴布札布は一軍と共に猶ほ郭家店に在り徐に退却の準備を爲しつゝあれど支那軍の形勢右の如きを以て

▲迂潤に退却 も出來ず困り居る有樣なるが如し因みに宗社黨の一部は幹部の解散せるに拘らず引續き何等か暗中飛躍を試み居るもの如く最近新民屯方面において京奉線鐵橋の破壞を企てたる事あり物情猶ほ騷然たり（大連支局電報）

●甘肅の宗社黨軍

甘肅省の西藏に接せる地方には無數の宗社黨群を爲し彼等は身に黃馬掛を著け宣統八年と大書する大旗を翳し張督軍は派兵進攻中なるが升允は已に蒙兵一隊を派し寧夏を攻陷せんとし民情恟々たりと（北京）

●松花鐵橋嚴戒

歐洲戰爭以來露國は東清鐵道の鐵橋及び隧道を嚴戒し特に松花江大鐵橋に留意し目下該鐵橋の兩端に砲臺の建設中なるが猶ほ橋脚の不安を感じ其周圍一帶に鐵條網を架設したり（長春）

●滿鐵と松花江

大々的調査の計畫

滿鐵調査課に於ては今回松花江流域の調査を開始すべしといふが從來幾度も社員を派出し調査する處ありしも流域にだける概要都合、産業狀態等に過ぎざりしも今次の調査は大々的計畫にて同流域の航海狀況を始め物産の集散、經濟關係等各般に亘り專門者を以て調査隊を組織し少なくも數箇月間の日數を要し精細調査をなさしむる方針なり同江に讓渡さるべき東淸鐵道の一幹線と見做し貨物の蒐集には是非同江の水運を活用せざるべからず若し今次の調査にして適確なるものを得ば流域の浚渫をなすは勿論貨物集散地には將來船舶の繫留、荷役場、倉庫等の設備を施すまでも同江の利用をなさんとの方針にて既に重役會議にも提出されしといへば東滿線の讓渡手續を終了と同時に著手すべしと（大連）

●哈市の財界

哈爾賓最近の金融狀況を聞くに例年分夏枯時期なれば金融一般に閑散にして就中日本側輸出商人取引休止の狀況にあり但し露國側支那側並に日本側輸入商は綿布其他雜貨の取引相當あるにより輸入品代金支拂ひの爲資爲替あるも買爲替少なく常に片爲替となり資金停滯勝ちなり金利は南滿地方と略ぼ相似て目下安含みなるが尚ほ始らく取引閑散の時節なれば新資金の需要は尠なかるべき見込みなりと

●御下賜金分配

六月中鮮內豪雨出水の爲め罹災民數少からざる趣き天聽に達するや 天皇皇后兩陛下には金四千八百圓を下賜せられ罹災民救恤の資に充つ可き旨の御沙汰あり、而して寺內總督は此御沙汰を拜すると共に直ちに參內御禮を言上したるが一方總督府にては被害各道に對し 聖恩の優渥なる旨を通達すると共に其の被害の程度及び狀況に鑑み之を京畿道百十圓、忠淸北道七十五圓、忠淸南道百六十三圓、全羅北道一千五百四十圓、全羅南道二百四十一圓、慶尙北道九百九十八圓慶尙南道一千五百七十三圓に割り當て死傷者、行衛不明者並に家屋の流失、全潰、半潰せるものに分與す可き旨二十九日午後通牒を發して被害各道長官に宛て附したり

●併合記念張宴

二十九日は併合六週年記念日なりしより山縣政務總監、各部長官、所屬官署の長、各局長、小松翰長、秋山參事官其の他併合當時の關係各課長事務官等約四十名は同日午後七時より朝鮮ホテルに參集記念の晩餐會を開けり

●農業講習修了

八月一日より開會せる實業學校教員農業講習會は水原及び京城に於て豫定の講習を了し三十一日午前十一時より京城中學校內に於て終了式を擧行したり式場に於ける宇佐美內務部長官の訓示左の如し

▲長官訓示

本講習會は三旬に亙る農業の講習を全ふし本日滯り無く閉會を告ぐるに至りたり、本官は深く講師各位の勞を謝し且つ講習員諸子が勵精事に從はれたるを多とす。本講習會の趣旨に關しては政務總監閣下より指示せられたる處及び講師各位の講演に依り既に十分了得せられたるべしと信ずるが故に今又別に諸子に望む所なしと雖も更に一言を添へて諸子の任に歸るを送るは亦必ずしも徒事にあらざるべし。惟ふに今日の世に於て實業教育の重視す可きは今更喋々を要せざる所にして內地に於ても之が獎勵改善に努めつゝあるは諸子の知らるゝ所の如し、況むや朝鮮に於ては産業の振はざる既に久しく人民亦安逸に流れ遊惰に耽り民力の疲弊殆ど其の極に達せしが最近數年間に於て大に其の面目を一新し今や益々其の振興の氣運に會す。是れ即ち朝鮮に於ける實業教育の特に切要なる所以なり、而して實業教育は獨り實業學校に於てのみならず小學校、普通學校に於ても其の教育は實業に關する知識と技能とを具備し併せて之が趣味を有し以て産業の發展に資せざる可からず、此を以て本府は普通學校、小學校に至るまで實業科目を設置せしめ之が獎勵に努めつゝあり、今次農業學校教員の外以上の教員に對し併せて講習を授けたるの趣旨亦茲に在り。三旬の期間素より長からざるに非ずと雖も其の間に學びたるものは單に斯業の一部分に過ぎず、諸子は之を基礎として益々研鑽攻究を積み實習に重きを置き適切有効の教育を施さざる可からず、就中實習は學科と聯絡し職員率先して範を生徒に示すに於て初めて其の目的を達し得可し。殊に農業教育の如く實科を主とするものに在りては往々にして其の教育の眞意を閑却し或は品性の陶冶を忽にし若くは單に技術の傳習、講習を爲すものと混同するの弊なしとせず、斯の如きは素より本府教育の方針にあらず、諸子深く之を念とし教授事項を精選して其の統一綜合を期し應用自在ならしむるの能を得せしむると共に高尚なる品性を具備せる良民の育成に努力すべし。

●地查委員會 高等土地調査

委員會第二部委員會は三十日午前十時より總督府第一會議室に開會し山縣委員長以下各委員出席し土地查定不服申立に關する件を審議正午散會したり

●立花師團長轉居 大觀亭

に假寓しゐたる立花第十九師團長は龍山官邸竣工に付き二十九日家族を取纏め移轉せり

●白井中將赴任

新任旅順要塞司令官白井中將は三十日夜退鮮釜山より御用船に搭乘任地に直行せり

●東拓總裁消息

吉原東拓總裁は十九日朝急遽東上帝來東京の自邸に滯在中なるが東上の用向は全く病氣療養にあり總裁は宿痾の爲め春來漸次左腕の自由を失ひ最近に至つては極めて輕微の物を上下するさへ困難なるに至りしより京城某博士の勸告を聞き東京にて切開診療を受けんとするにあり故に其の滯在は長引き歸期は延引すべしと

●小原長官歸任

入京中なりし小原忠南道長官は三十日午前八時三十分南大門發列車にて歸任の途に就けり

●秋季對抗演習

羅南及び平壤兩旅團の秋季對抗演習は十月六日より十日まで又大田、大邱兩聯隊の秋季對抗演習は十月廿日より廿三日まで擧行の事と決定せり

●鮮銀支店と店長

釜山鎮南浦木浦群山安東縣長春の各鮮銀出張所は何れも既報の如く九月一日より支店に昇格する事となりしが店長は大部分出張所長を昇任せしむる事となる由なるも其他を通じ二三支店長及び行員の異動あり多分同日發表さるべし

●組合會と戶別割 京城學

校組合は前日の組合會議に於て委員附託となりたる戶別割賦課減免の件に就て委員會を開會したるに減免申請者中には相當の資力を有しながら故意に減免を申出でたる者もあり甚以上に增額を必要とする者もある次第にて委員は是等の點につき詳細調査の上來月一日午後三時より本會議を開き議場に報告することゝなりたり尙ほ前回に於て議了せざりし教育基本金の貯金一部停止の件も當日の日程に上すべしと

●羅州電信取扱所廢止

全南羅州電信取扱所は八月三十一日限り廢止し同所にて取扱ひたる事務は羅州郵便所に承繼する由

●隊署長恒例會

京畿道警務部にては三十日午後一時より京城府內各憲兵隊警察署隊署長を召集し隈部部長主裁の下に恒例隊署長會議を開き衛生其他一般事務に關し打合せを爲す所ありたり

●通俗講演會開會

京城酒商及び食料品同業組合は九月一日京城商業會議所に於て通俗講演會を開會する筈なりしも都合により三日午後九時より開會のことに變更し玄角庶務課長、太田視學官等の講演ある筈にて廣く同業者の出席を歡迎すべしと

●永井教授演說會

今回早稻田大學教授永井柳太郎氏の入京を機とし朝鮮公論社主催の下に三十一日午後三時京城本町一丁目有樂館に於て演說會開催の筈なり永井教授は昨年同社主催の夏季講演會に於いて氏獨特の雄辯を揮ひて連日聽講者を醉はしめたるもの過般日露協約の締結を見るや直に南北滿洲より露領に遊び今回浦鹽を經て入京したるものにて入場無料とし有らゆる人士の入場を歡迎する由なれば定めし盛況を呈せん

△演題「小日本より大日本へ」

元山

▲石橋川架橋工事 元山中里石橋川に架せられたりし南川橋は去る七月十一日の豪雨に際し流失後復舊工事を施すに至らずして放任さるゝ事四十日其の間東馬の往來全く杜絶の狀態にて交通上尠からぬ不便を感じ或は府廳に或は直接道廳に請ひ架設を促して止まざりしが漸く去る二十六日附を以て南川橋架替工事に就き道廳より府廳宛委託し來れるを以て近く元山府廳に於て入札に附し起工の運びに至るべしと▲安邊金鑛と久原鑛業 過般來久原鑛業所に讓渡交涉中なりし鄭孫磨氏所有の金鑛安邊郡道安面所在鑛區五十萬坪は此の程五萬圓を以て賣買契約成立し引繼ぎの爲め關係者は去る二十五日同地に向ひたるが之れが引繼ぎ結了後久原鑛業所に在りては直ちに試掘開始の筈なり因に該金鑛は明治四十三年前記鄭孫磨氏に依り發見せられたるものにて爾來同氏は刻苦精勵自ら採掘に就事しつゝありしも漸く最近に於て二十有餘人の工夫を使役し而も數臺の水車を設くるに至りしものなりと

咸興

▲咸炭の增資 咸興炭鑛株式會社に於ては臨時株主總會の結果從來六十萬圓なりし資金を九十萬圓に增加すべく決定し此の增資額三十萬圓に對する新株は額面五十圓にて六千株を募集する筈なるが第一回拂込は一株に付二十圓とし總新十三萬圓なりと而して重役は過般改選の上取締役は上原虎吉木村善三郎三上豐男上林敬太郎の諸氏重任し監査役は丸茂彌四郎氏辭任し新たに川上半三郎氏就任と決したり▲傳習所成績 恩賜授產成興女子養蠶傳習所本年に於ける成績を見るに本期春蠶種製造並製使用繭量一石二斗五升蠶種數量四百二十四枚生絲使用繭量八斗三升生絲數量七百六十匁眞綿使用繭量一石六斗二升五合眞綿數量一貫二百六匁にして前年に比して成績頗る佳良なりしと▲神宮建設許可 咸興大神宮建設の議に就ては曩に咸興氏子總代三十名より運署申請中のところ今回之れが許可の指令に接したるを以て去る二十日菱田委員長は委員會を招集し協議する處ありたるが近く播龍山知樂亭の豫定地に神宮建設の工事に著手さるべしと▲軍營地道路進捗 目下工事中なる軍營地に通ずる六間幅の道路は監獄署前より屠牛所前まで竣成し同附近一帶工事は長足の進捗を見つゝあり▶成興郡水害高 今回漸く成興郡廳に於て調査結了したる八月十一日より十三日に亙る暴風雨に際し成興郡被害狀況に就き聞くに死者一名畑浸水三十六町水田埋沒二反道路被損三間堤防被損三十三間にして比較的損害少かりしものゝ如し

北青

▲農作物收穫豫想 咸南北青郡本期農作物收穫豫想に就き聞くところに依れば農作物は一般に成績良好なるものゝ如く就中大麥は昨年に比し約一割小麥も同樣增收の豫想にて目下發育中に屬する稻粟稗黍等も既に出穗揃ひとなり今後天候に於て大激變なき限りは前年の實收高に比し約一割強の增收疑ひなかるべく更に蔬菜類の如きも生育佳良にして之れ又增收の見込なりと▲北青新昌間渡船 北青邑より新昌港に至る間樞要の橋梁たる閑理橋は過般の豪雨に際し又々流失の厄に遇ひ交通上至大なる不便を感じつゝあるも直ちに架設し難き諸種の事情あるを以て橋梁架設期までは渡船の設備をなし其の不便を補ふべく既に過般來此處に渡船を開始し居れり▲北青畜産組合 既に總督より許可されたる北青畜産組合は直ちに組合の總會を開き事務の報告創立費の承認を求め同時に役員の選擧を行ひ經費の豫算及び徵收方法の決議をなし目下之れが認可申請中なりと

平壤

▲南浦商議豫算 鎮南浦商業會議所五年度豫算は設立發起人西崎鶴太郎氏より府廳經由其筋へ認可申請中なるが未だ認可の指令に接せず本月中には多分認可なかるべし▲副業組合新設 平安南道大同郡金祭面下路里は戶數一三八戶なるが今回里民協議し勤儉貯蓄の獎勵を目的とし副業に蓆を製造し得たる金を貯蓄する組合を新設したるが監督者は郡守組合長は同里選出の武副組合長に孫爾讓就任せり▲技長赴任 平安南道江西郡甑山公立普通學校長を拜命したる元平壤公立尋常小學校訓導林新兵衛氏は八月三十日平壤出發赴任地に向へり▲平壤と氷 在庫高 平壤に於ける飲料氷の八月三十日現在庫高は各貯藏庫を通じて十萬貫にして價格十貫五十錢平均なりと

仁川

▲大隊と仁川 仁川府廳にては二十九日當地に宿泊せる第三十七聯隊第三大隊へ朝日五百包を寄贈せり因に大隊は三十日午後一時より東公園大神宮社前に於て中島校長より仁川沖の三十七八年役海戰の實地講話を聽き午後三時當地を出發歸營の途に就けり▲仁川稻作良好 仁川府管內の稻作は發育頗る良好にして他地方には浮塵子發生し被害少なからざる模樣なるも目下被害皆無なりと▲天長節式祭 三十一日は天長節の佳辰に相當するを以て仁川大神宮に於ては午前九時より氏子總代及び官民有志參拜の上公式祭を執行すべし

大田

▲酒稅豫定額 酒稅令發布に伴ふ酒稅は九月一日現在にあらざれば確實なる調定額を知り難きも郡當局の酒類持越高を豫想し豫定額を定めしを聞くに五百餘圓也然れ共一般に小賣値上げを豫想し買入れを爲すべき見込みなれば實際に於ける數字意外に減ずやも知れずと因に京龍地方既に値上げ發表を見たるを以て當地方に於ても一升五錢方の値上げをなしたり▲少將寄贈 出發赴任せし緒方少將は當地教育會附屬武德館維持基金の內へ金十圓を寄贈せりと▲秋蠶狀況 大田郡恩賜產業傳習所秋蠶狀況其他を聞くに秋蠶時期に至れば空氣乾燥の爲め飼育者一般に苦心する例なるも本年は降雨度なありたる爲め濕乾其度宜しきを得たる爲め上簇期に入り頗る好結果を得普通一升に對し二百卅粒の例なるも二百十粒內外にて一升を得るの成績にて忠南に其比を見ざる程なりと又秋蠶共同販賣は買入れ者尠きを以て八郡に涉るものを當地に集め九月十一日より十三日までに販賣をなすべし當所に於ける蠶紙製造は例年六十枚位なりしも本年は道當局よりの指示もあり約百枚の種附けをなす筈先般蠶具製造の目的を以て生徒三十名を採り既に採取者ありたる爲め充分成績を上げ得ざりしも蠶種二百枚製造原料を採取せりと▲敷地選定 當地大神宮は神社令に據り本府の認可を受くべき筈にて一應書類提出をなしたるも不備の點ありし爲め再度出願せしが現位置は都合惡しきを以て他に好位置を撰定の上遷座すべく協議會にて決

群山

▲所長決定 群山米穀檢查所は前田所長辭任後久しく缺員の儘入選中なりしが今回水原檢查所在勤山本壽己氏の任命を見二十九日著任の豫定なり▲學校組合會 二十六日午前十時群山學校組合會議事堂に學校組合會議を開き大正四年度決算認定の件大正五年度追加豫算の件に付附議する處ありたるが原案通り可決し出納檢查員の改選を行ひたるに前任者樋口虎三郎、淺井英藏、牛尾正一氏等重任確定し正午十二時閉會したり▲防疫設備 群山警察署に於ては內地各方面に虎疫蔓延の徵あるに鑑み豫て內地より入港する荷客に對しては充分の注意を拂ひつゝあるが特に虎疫流行地として目せらるゝ長崎熊本大阪等より發航せる入港船舶の荷客に對しては嚴重なる消毒豫防を勵行し萬一罹病者を發見せば患者を收容すべき避病院同船者の隔離室として東本願寺を當つる事に設備萬端調ひあれど幸ひに此の兩收容所を煩すこと未だ一回も無きのみならず防疫事務開始以來未だ曾て流行地と目せらるゝ大阪長崎熊本方面より乘船者の上陸せる者一人も無き由にて前記流行各地を發したる船舶の群山港に著するには通例五晝夜以上を消し內地より來航するに木浦港と群山港の中間海上航行中に既に虎疫病菌の潛伏期を經過する譯にて虎疫流行內地各方面と群山港との船舶航行距離は比較的安全の位地に在る次第なりと

大邱

▲慶北道內小學生徒數 慶北道廳最近調查にかゝる慶北道內地人小學生徒數は合計二千三百七十名にして福岡縣人の二百四十八名山口縣人の二百名是に次ぎ秋田縣人の四名朝鮮人一名最小なり因みに朝鮮人の內地人小學校入學場所は慶北慶州なり▲穀物組合改選議員 慶北輸移出改良穀物組合にては廿六日評議員の選擧を行ひしが開票の結果左の十六名當選せり

▲（金泉）森本音次郎、正井秀次、福岡直助▲（若木）永野永太郎▲（倭館）松原米吉、森本豊吉、中村松太郎▲（大邱）若林誠助、吉谷治輔、樂安寅、大浦喜七▲（慶山）稻崎喜三郎、原梅吉、光成友三郎▲（河道）兒島德之丞、出水榮藏

人事消息

▲森安連吉氏（總督府醫院內科部長） 卅日朝永原へ同夜歸京

▲大橋與市氏（岐阜縣大橋銀行頭取） 三十日朝入京不知火へ

▲松村乾堂氏（書家） 卅一日朝退京の筈

▲長野縣觀察團一行 同上

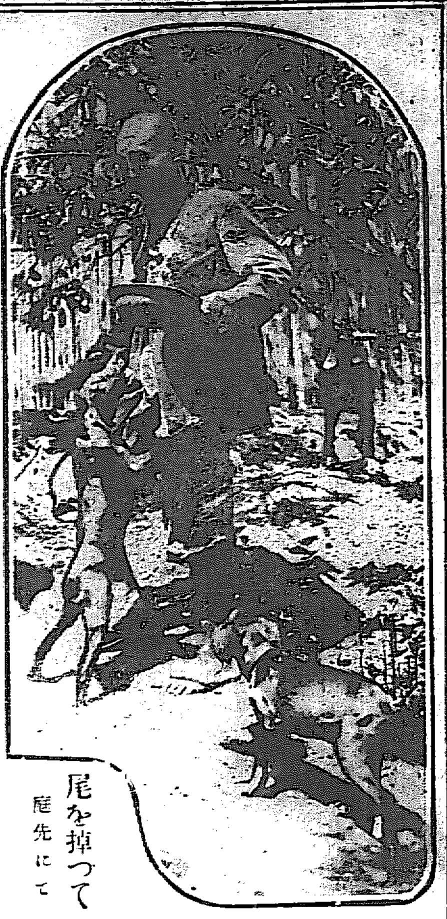
▲高橋亨氏（大邱高等普通學校長） 事務打合せの爲め九月上旬出府の筈

▲山田武吉氏（大陸主筆） 三十日大連より入京

▲中岡爾雄氏（慶南農銀支配人） 廿九日大邱本店へ赴任

▲緒方多賀雄氏（陸軍少將） 同日午後さくら丸にて內地へ

□東京方面電報故障延著


尾を掉つて 庭先にて

ワンワンの學校參觀記(二)

獨りで水原迄獵に行つて來る怜悧な犬 漢江を平氣で渡る和田ドクトルの犬

犬は三日飼へば三年其恩を忘れずと云ふ位に悧巧な動物ですからホントに利巧な犬になると到底ヘマな人間の及ばぬ所があります其二三の例を申しますと弓削さんの只今お預りしてあるエスなどは大變に獵の好きな犬で氣に向いた時は單獨で南大門に行つて何時も御主人の

◆お供を して行く時に乘る貨車に飛乘り鳥の棲んで居そうな山の附近に行くと列車が進行して居ようが居まいがそんなことにはお構ひなく勝手に飛降りて鳥を追廻すと云ふやうな風ですそれから犬が自分を可愛がつて與れる飼主を忘れないと云ふ一例には私の知人で田舍に居る者から一疋の犬を貰つた所が非常に其犬が氣に入つて貰つた翌日他の獵犬一疋と共に水原の山奧約三里の山に獵に出かけたんです所が未だ獵に慣れて居ない所爲か鐵砲の音に吃驚して姿を隱して終つたので大分彼方此方を

◆搜索し たけれども遂に見當らぬ將來見込のあつたのと何んとなく私の氣に添つて居た犬が失走したので大に氣を腐らして宅に歸り家內の者に此由を話すと犬は貴郎より先に歸つて居ますと云ふのです私は思はず母親が途中で見失つた子供でも發見た樣に頰腑をして喜んだのですがこれなどは全く初めて行つた途をどうして歸つて來たのか又人間ですら困難な漢江をどのやうにして泳渡つたのか不思議でならないので和田ドクトルの獵犬も漢江を渡る位は何んでもないのです此樣に悧巧な犬のことなれば

◆飼主の 喜怒哀樂は姿を鏡に映すごとく判るもので飼主の先生今日は少し御機嫌が惡いと見ればチヤント其飼主の目附を見て合點して居て尾を振つたり顏形で御機嫌を直そうとする所は人間より以上に悧巧なものですと松村校長さんの犬自慢は却々に盡きず生徒さんのワン〳〵連中自分逹を讃められて居ると知つてか知らいでか切りに尻尾を振り廻す——夫ですから犬は大事にさへすれば決して惡いともせず命令をよく守るものです御覧なさいと云ひながら裏山の芝生に二三疋のワンワンを連れ出して止れ、行け、見とれ、持つて來いと自由

◆自在に 働く所は初年兵の練兵以上かとも思はれる犬に藝を仕込のは何種を問はず普通生後四箇月位からが最も適し命令を發すれば必ず之に報酬を與へる樣にして慣せば容易に一匹の獵犬に仕立てることが出來ます、そして出來た獵犬は四歲乃至五歲位の間が最も全盛期で此樣な犬なれば下手な狩獵家なぞは犬の方から獲物を取らせて與れるものです只愛犬家の忘れてならない衞生上の注意は十月から十一月頃にかけて流行する熱病に罹されぬことゝ腸胃を害せぬことで其

◆豫防こ しては時々藥用硫黃を少量づゝ與へるか又消炭の新鮮なるものを與へるなどし若發生した場合にはカマラ、セメンのやうな虫下し劑を服用させるがよろしい犬が好んで消炭又は壁土、砂等を喰ひたがるのは自然の防虫劑たり消化劑として取つて居るのです風を引かせると云ふことは人間と同樣皮膚病を併發する處があるからして入浴の如きも夏の外はブラシで拭ふてやる位に留めて亂かなければなりません耳の中を洗つてやつたり寄生蟲の驅除を行ふたり考へて見れば面倒なことですと校長さんのお話はなか〳〵詳しい

前代未聞の假出獄

四度恩典に浴して全刑期の半になつた

仁川分監に服役中なりし京城府青葉町二丁目七番地李散善(三六)は明治四十五年四月京城地方法院に於いて謀殺未遂罪に依り懲役十年に處せられ初め西大門監獄に入監し後ち仁川分監に移されたるものなるが常に行狀善良にして克く獄則を遵守し賦課の作業は專心勉勵するより本年七月末現在の作業賞與金の如き他囚に類例なき多額に上り此れを行狀善良の廉にて賞表を付與せられ平常囚の模範としたるものなるが大正元年同二年同三年同四年の四回に減刑の恩典に浴し懲役十年を同四年九月五日に減刑され實に全刑期の二分の一強の減刑に浴し今回更に假出獄の恩典に浴せるものなるが斯くの如きは誠に異例の事に屬し二十九日木村分監長より假出獄を宣したる際の如き洪恩の無窮なるに感泣し一層改悛歸善の念顯著なるものゝ如かりしと因に本人が犯罪の動機は幼時不規律なる家庭に生活したる爲め遂に常軌を脫したる行爲を敢行せしものにして全く思慮十分ならざるの結果にして犯情殊に憫諒すべきものありと而して出獄後は京城なる姉婿朴基安と共に勞働に從事する由(仁川)

暗黑三時間

朝鮮瓦電の停電

廿八日午後七時廿分より同十時廿分に至る約三時間釜山の港內市中は元より牧の島東萊等の瓦電管轄の送電區域は一般に大停電暗黑の世界になつた其間に於ける出來事は中々多い事なるべしと中にも

▲電車の立往生 東萊行の滿員電車は田圃の中に暗黑車に殺しく乘する者は數車の猛要に辟易す不平滿々にて三時間の足止めを喰ふ長手通の夜店は今から張店をなさんとする頃より停電にて不止得休業をしたが然し早かりしは仕合開店中ならば大混雜を極めたるならんと各活動寫眞は勿論其他の興行も休業の止むなきに至り入場した客は不平ダラ〳〵立戾り混雜殖銀支店長の中岡森本兩氏の

▲歡送迎宴會 を鳴戶本店に催せるが客の集る頃より停電と云ふ始末に時を移し待て共送電なく不止得八時半頃よりローソク燭臺をつけ又ランプを以て皆着席なしたる處夏の事とて四方八方開放ちある事とて風の爲め火はもたず折りも折りとて夕立の猛雨に降り込まれ總立となり大混亂を極め直に雨を防ぐ爲め四方の戶を締め合せたれば何を以てたまるべき蠟燭の油烟は室內にこもり人間の蒸ものが出來そうなり此宴會は水せめ火せめ風せめに會ひながら十時半散會した頃送電ありホテルに於て夕食を認めんとする頃より停電した故に同氏等は『釜山に電燈の設備はなきか』之れでは東亞の玄關とは言はれぬなどと冷笑したさうである

▲釜山の停電は 殆ど毎日の如く敢て珍らしい事ではないが毎度二三十分位にて復舊するを例とし何れも不便とは知りながら止むを得ぬ事とあきらめ居りしが三時間以上も停電は近頃餘り無い事とて一時は大混雜であつた

暴風雨 南から北へ通過

仁川港內に於ける船舶の被害

仁川觀測所員の談に依れば二十九日午後二時頃黃海北部及び木浦沖に突發せし低氣壓は共に東北に進行し三十日午前六時には元山北方及び東朝鮮海に到着せり其爲め諸低氣壓の經路に當れる地方即ち京畿道江原道慶尙南道に二十九日夜來風雨烈しかりしが仁川地方最も風力激しく市街及び港內に多少の被害ありたり

▲轉覆船二隻 仁川本町慶田組所有艀船第十川丸(廿五噸)は三十日午前三時頃稅關第二棧橋右側に繫留中滿潮時にて船體の動搖烈しく海水船艙より浸入するより船員極力救助に努めたるも遂に轉覆沈沒し積荷米七百二十俵の內四百五十俵價格二百二十五圓は流失し殘餘は全部濡損を蒙れり又同時刻同棧橋に繫留中なりし仁川新町權上浪吉所有艀船第一萬力丸百六十七噸も風浪の爲め棧橋に衝突して船腹に大破孔を生じ浸水して沈沒し船體損害一百圓積荷割石其他の損害五十圓の見込なり何れも乘組員には異狀なかりし(仁川)

ミレット氏 開城に向ふ

入京中のミレット氏は技師引き連れ卅日午前より工業傳習所に到り更に總督府醫院、動植物園を參觀活動寫眞の撮影を爲し卅一日開城へ向ひ撮影を爲す筈なり

火藥庫を襲ひたる大賊

主謀者二名捕はる

平北雲山郡所在東洋金鑛株式會社にては本年二月末城面鷹峰洞に建設せる火藥庫の裏表二箇所の錠前を打ち毀して數名の賊侵入しダイナマイト九箱(一箱六貫入此總價格三百四十餘圓)を竊取し去れり當時所轄北鎭警察署にては此內八箱は發見押收したるも犯人不明のため爾後嚴探中の所雲山郡邑內面龍湖里李向贊(三五)雲山郡城面鷹峰洞李浩洛(三)の兩名の所爲に相違なきことを突止め本月十八日北鎭署の手にて逮捕したり

汽車から飛ぶ

早く弟に逢ひたさに二十七日午前十時扭峴驛發列車が朱安驛を發し南行中朱安驛を距る一哩[illegible]水原驛より扭峴驛迄の切符を購求し乘車中前記の地點附近に本人の實弟が居住し居るより早く下車したくなり飛降りたるものなりと因に同人は一事人事不省に陷りたるも生命に別條なし(仁川)

稀しい間島の暑氣

十年來の最高記錄を示す

炎帝猛威を揮ふ連日の旱天に野も山も燒け焦げんと思はるゝばかりなる近來の暑氣は間島十年來の事とかにて昨二十三日の如きは最高氣溫攝氏三十七度二分華氏九十九度といふ新記錄を作れり曾て大正二年八月及び大正四年八月兩度氣溫三十六度に昇りたる事あり然るに本年の暑氣は其以上にて旱魃の程も察せらるべしと

小刀で突殺す

平南大同郡龍岳面下里[illegible]

朝鮮へ駈落

全南順天郡龍頭面月田里生れの潘不日(二八)は伊藤高雄と稱し本年六月十日より福岡縣遠賀郡八幡町字枝光北本町吉松李太郎方に止宿し土方稼ぎをなし居れる內何時しか李太郎內緣の妻廣島縣安佐郡三入村生れの綿路くら(三七)と私通し李太郎の目を偸みて不義を續け居れることを遂に發見されたるより居堪らずなり兩名共謀の上李太郎の所有せる現金十一圓除及び羽團五枚(三十圓)其他衣類多數を竊取し手を攜へて八月五六日頃行衞不明となりたるより多分朝鮮落ちを極め込みしものならんとの見込にて目下搜索中なりと

虎樵夫を咬む

全南谷城郡には過般少女一名猛虎の爲め喰ひ殺されたるが又復四五日前樵夫一名虎の爲め咬傷を受け目下重態に陷り居れり多分少女を喰殺したるものと同一の虎ならんと

公園に高燭電燈

天長節祝日の仁川公園

京城電氣株式會社仁川支店にては來る三十一日天長節の祝意を表すると共に今回新著のニトラ電球を一般に紹介すべく日本公園に高燭電球の萬燭力三千燭光を點火する由なれば當夜は東公園は甚だ壯觀を呈すべし因にニトラ電球とは電球內に窒素とアルゴンの混合氣體を封入しタングステン纖條をして高溫度の抵抗に耐へしめ普通金屬纖電球の三分の一の電量を以て同一燭力を保つものなり(仁川)

二百圓の慰藉料

咸南長津郡上南面金應澤(三)は三月二十八日懇意なる長津郡邑內面連堂里趙永涉より依賴を受け上南面西德里趙永涉を自宅に呼び寄せ地所の紛爭に就き談判中永涉の腹部を強打して腹膜炎を惹起せしめ遂に死亡するに至らしめたりといふ事件にて五月二十日咸興地方法院にて懲役二年及び亡趙永涉の長男趙秉禮より私訴の附帶訴訟に依り二百圓の慰藉金支拂ひの判決を受けたるを不服とし京城覆審法院に控訴申立てたる結果有永涉死亡の原因に就て證憑充分ならざる爲め前判決を取消し無罪且つ趙秉禮よりの私訴棄却の處分となれり

夜市荒しの賊

京城[illegible]洞徐光國(二)は住所不定姓不詳の吉男(三)孝子洞洪瑞明(二)の兩名を配下として八月中毎日の如く鐘路の夜市其他各町を徘徊して掏摸、搔浚ひをなし現金、靴下、猿又、卷煙草、下駄、齒磨、石鹸、手袋等手當り次第のものを竊取し居れる所を何れも本町署の手に捕はれたり

倒壞家屋二千三百戶

濟州島に於ける未曾有の暴風被害

去る二十四日濟州島に暴風起り漁業船轉覆し朝鮮人三名の死者ありたる事は既報の通りなるが其後の報告に依れば牛馬の斃死七頭家屋の全壞三戶半倒壞二千三百十戶等未曾有の多數に達したりと

女鳩 今晚から

稽古の積んだ舞臺

本紙連載渡邊默禪氏傑作小說女鳩は愈々三十日午後五時から和合俱樂部一行によつて壽座に上場される、女鳩は一行が仁川に於て曾て手にかけた事もあり且つ今回は數日に亙つて稽古を勵んだ効果は忽ち舞臺の上に現はるべく然かも座では特に一日休場し晝夜打通しで大道具、小道具を造り上げ劇場內外の裝飾なんど遺憾なく出來て前景氣は素晴しいものである入場料は既報の通りであるが本紙夕刊欄外に刷込んである割引券を持參すれば三割引で觀られる

パゴダ公園演奏

三十一日午後八時よりパゴダ公園に於て音樂隊の演奏あり曲目次の如し

一、行進曲 フリドリツクカアル親王(ビルセ作) 二、序曲 ヴイントソル[illegible]の細君(ニコライ作) 三、ワルツ曲 求愛者(ランチル作) 四、歌曲 傳令鳩(イテデル作) 五、オヘンバキアナ接合曲(コンラド作) 六、スタンドヘン曲(シウベルト作) 七、序曲 山神の小鍾(マイラト作) 八、カテリレ曲 幻魔(ブテツク作) 九、短唄 春雨、西班牙行進曲(ロイケ作)

讀者文藝

(一等に五十錢の書籍券を呈す)

▽謎題「筆とかけて」

◯奉公人と解く心は充く使へば先が持てぬ(一等) 龍山鐵道官舍八六號の一 山家 吾公

▲[illegible]と解く心は[illegible] 京城 長谷川うつゝ

▲[illegible]と解く心は[illegible] 大田 好 生

▲[illegible]と解く心は[illegible] 京城 石川 露暗

▲[illegible]と解く心は內用と外用とあり 京城 [illegible]子

演藝案內

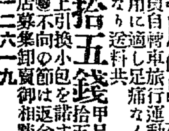
黃金館 電話二八五三 [illegible]

御成座 電話一九一一 [illegible]

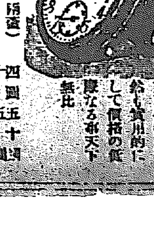
大正館 電話八七三 [illegible]

ニトラ電球の紹介 京城電氣株式會社仁川支店は天長節の祝意を兼ね日本公園に於て[illegible]

移轉 會務擴張の爲め左記へ移轉す 性相鑑定は從前の通り一般の依賴に應ず 永樂町二丁目 電話貳貳參參番 東京性相學會朝鮮支部主幹 隈本修平


ゴム底便靴 學生吏員自轉車旅行運動用に適し足痛なく高評多大なり 特價六拾五錢 甲品七拾五錢 大阪市南區瓦屋町四 日野商店

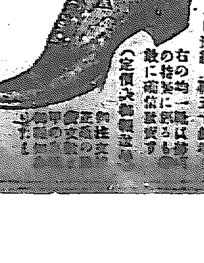
株式會社 京城葬儀社 旭町一丁目(京城府廳前) 電話一五六七番


新荷著 懷中時計

中根商會 鑛山用諸機械工具 排水灌漑各喞筒 直輸入製作販賣 京城南大門通五丁目 電話長百〇四番 百〇五番

電話增設百〇五番 大なる敷地を買求め目下工場新築中に付

夏物紺セル洋服 鐵道局拂下品 金子與市商店


三倉商會高等靴 東洋ボックス皮製紳士靴

●九月一日から

新學期

△一年中最も大切な時期△緊張して許り元氣な生徒

△九月一日からいよ／＼第二學期の新學期が始まります、新學期の生徒は始めの一週間ばかりはお休みの癖で授業に油が乗りませぬがそれからさきはだん／＼熱心になつて來ます

△元來一年三學期の内で此の二學期は最も成績の擧がる時であります、第一學期の生徒は新學年になつた許りで落付かず第三學期は學年の終りといふので身が入りませぬがそのまん中の第二學期は最も大切な時期であります

△それに暑中休暇中海に山に森に小川にはね廻つた生徒達は何れも溢る許りの元氣を有つて勉強しますので此の二學期は一年中最も勉學によい時分です

△また府内の各學校共生徒に休暇中の復習日課などを與へて居りますので眞面目に日課を修め適宜の運動を繼續した生徒は此の秋の新學期に著しき進歩を見るでありませう

△それに日出小學校では休暇中朝起會を催ふしましたので一般に早起の

野山に初茸狩

△獨立門外の松林に

（河合日出小學校長談）

△この頃獨立門外の松林には秋草の咲き亂れた間にもう初茸が出初めました

△初茸はこれまで東大門外の清凉里や南山、奬忠壇あたりが知られて居ましたが獨立門外邊も多いやうです

△茸は主に中年以上の松林中にありますが獨立門附近には保安林も多きこと故茸狩にはよく注意しなければなりません

△それに松茸は毎年南山の松山が有名でこれもそろ／＼出初めませう

△南山の茸狩はよく旭町南山町あたりの奥様方が早朝朝餐前に採りに行かれますから朝早く行かねば見當りませんそれにまた濕地茸も四五日前鮮人が持つて來ました

△茸は紫色とか紅色とかすべて毒々しい濃厚な色を有つたものには毒があります、また乳汁のやうなものゝ出る茸だとか傘の裏が泡膚や縮緬膚になつて居るものはすべて食べてはなりませぬ

●安州百祥樓

▲近く修理されん

平安南道安州城内に於ける唯一の古建築物として有名なる百祥樓は城の西北端清川江に臨む斷崖上に樓高約四十尺建坪百坪を占むる大樓閣にて年月を經ると共に腐朽著しく此の儘に放置せんか廢頽遂に復舊の手段無からんとて有識者間にては種々其の保存法に就き考慮中なりしも何分應急修繕を施さんとするも巨大の費用を要することゝて今日迄放置されしが、先年來其筋に於ても其の必要を認め古蹟保存會にて其修理を爲す事と決したるが、道廳總督府は營繕課技師岩井長三郎氏同技手飯島源之丞氏を派し其腐朽程度實査を爲したり

●平壤中學の擊劍仕合

平壤中學校に於ては夏季休業中寄宿舍生徒を有樂舍に於て平壤在住生徒に對し劍道の修業をなさしめ居たるが八月二十七日は午後三時より同舍に於て紅白仕合數十番を行ひたり

●志岐氏の寄附金　京城日出町志岐信太郎氏は今回祖先の追善供養の爲め京城府行路病人收容所に四拾圓、勞働宿泊所に參拾圓、徳川鍾恢見院に參拾圓を寄附したり

婦人界消息

△鈴木はる子（日出小學校訓導）廿九日[illegible]ちやんを亡はれました葬式は三十日午後一時管制別院にて行はれました

△末松しげ子（李王職事務官令嬢）二十九日内地より歸京

△大山かね子（京城高等女學校教諭）二十九日夜内地より歸京

△岡田せの子（京城府課岡田勝利氏夫人）二十九日内地より歸京

神社と寺と教會

○東本願寺（南山町）三十日午後八時より婦人會の講話あり

○京城神社（倭城台）三十一日天長節に付大典を行ふ由

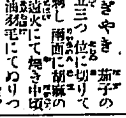
○京城基督教青年會（南大門通）三十日午後八時より夜學部の講演會を催す由

○天理教會（吉野町）三十日午後八時より大祭あり

―△會のいろ／＼▽―

○國柱會京城局（初音町）三十一日午後八時より今上陛下御降誕の奉祝式を擧行し後併東講師の法話に次で會員の協議會あり

○仁川青年會講演　仁川基督教青年會にては今三十日午後八時より山手町同會館に於て新地市太郎氏の講演會を催し三十一日午前九時より奉祝會を催し同日午後八時よりメソジスト教會に於て說教會を開催する由

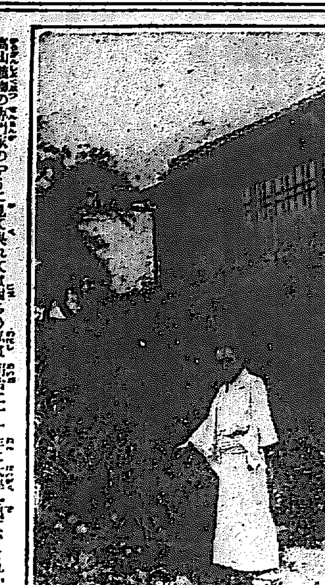


▲茄子しぎやき　茄子の皮をとりて立三つ位に切りて金串を二本刺し兩面に胡麻の油をぬりて遠火にて焼き中頃にて今一度油刷毛にてぬりつけてやわらかに焼き兩面に練りみそをぬり一寸あぶりて器に盛り串をぬく

練みそは味噌をすりて裏ごししたる鍋に入れ玉子をみそ五十匁に一個の割合にて入れよくまぜ合せ次にだしと砂糖とを加へて火にかけ弱火にて[illegible]れるかげんまで煮つめる（赤木はつ子）

圖「私の庭は無造作な野草許りだ」

△覆審法院の高山植物は小さな鉢植許り



◇南米倉町の城 覆審法院長の庭は御主人が日本に於ける高山植物の大家だけに、どんな花物が出るとかと伺つて見ると、庭は案外平凡なものであつた◇併し美しい芽すの姉を除いては、すべて野生の草花許りで狭い芝生の庭と築山には、あたりに桔梗、撫子、女郎花などが無造作に咲き亂れて居る◇「私は餘り西洋の園藝植物を好まぬ、ダリヤなども冬になつて球根を掘りあげるとか、貯藏するとかいふやうなことが面倒なので、あまり熱心に遣らうとも思はぬ◇そこへ行くと、狼藉野山の躑躅など何の造作も要らぬ上に折々摘り取つては床に活けるによい◇此所の白萩やわれもかう、女郎花なども野師横溢して面白い」と思ふ◇なに高山植物のはなしか、イヤ私を高山植物の專門家のやうに見て呉れては困る◇私は明治二十一年に大學を出て、それからボツ／＼そんなことに趣味を有つやうになつたが、今では一向やつて居ない◇併し私もある意味に於ては日本の高山植物研究者の元祖とも云へるかも知れない◇初め、明治三十五年の頃東京で高山植物の陳列會を開いた時には、高山植物なといふ名詞すらなかつた◇そこで本草綱目などにある、山草といふ文字をとつて山草會と稱したものだが、當時ある新聞紙などでは『山草會とは何の事だ』と、質問して來たやうな時代であつた◇その後方々に野草會などといふものが出來たが先づ高山植物を搭發し鑑賞するといふやうなことは、われ／＼が嚆矢であつたと思ふ西洋では高山植物は他の園藝よりも非常に遅れて居る、專門に研究されるやうになつたのはこれ三四十年にもなるかと思ふ◇なに、此の鉢植か、これは長之助草だ、千島石菖に、しこたん草だ、お隣のは黄花石楠花に苔もつてある、これは金剛山の毘盧峰にもあるといふだが貸は紅色でジヤトなどになる

商況

東京株式特電

[illegible]

債券現物特電

[illegible]

公債賣買取引

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

[illegible]

●綿糸遂に不勢

[illegible]

●澱粉の近況

[illegible]

出廻り遅延勝ちの爲め益々硬化

[illegible]

●石油の眼先觀

第二の値下は一寸豫期し難し

[illegible]

●鐵材二三五圓高

[illegible]

厚板九角一分騰

[illegible]

●浪板暴落す

割安品の輸入

[illegible]

銑方の暴落 一氣十六七圓

[illegible]

●洋釘値上げ

各時を通じ三五十錢方値上

[illegible]

●工業藥は良好

[illegible]

●精米更に安し

二十錢乃至十五圓二十錢

[illegible]

下關相場

[illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

釜山市場

[illegible]

仁川期米

[illegible]

▲三十日前場

大阪天候晴天の入電

一錢安の入電　二節三十三錢の移り

大阪八節三十七錢高移り

[illegible]

市場雜聞

▲納會平穩

▲前場の手振　刺戟乏しく多少買氣

▲秋天災如何　時に際して秋天災大厄日

▲格付發表

日本米肥後古米は遂に不合格

[illegible]

北濱だより

[illegible]

仁川米豆取引所

三十日の十月限

[illegible]

▲新甫内氣配

二百十日に

相當氣配區々

鞘十一月限上

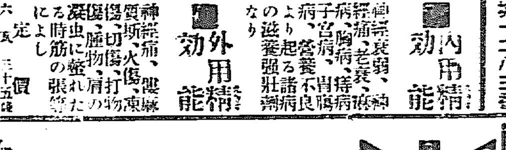
錢下鞘

[illegible]

㊡ 仲買店
仁川米豆取引所仲買人
電話長九〇番
電信略號返呈

田中合名會社
電話二一六二・八五二番

朝鮮總督府許可



人參直引大販賣所
滋養藥 朝鮮名産 人參エキス 一切 製造發賣元
京城本町一丁目 津村兄弟商會
電話一四八〇番 振替京城三五二番

特約店
北島藥房
古城藥房
廣岡藥房
松屋阿部藥房

■内用 効能
精神衰弱、神經痛、若衰、病、胸病、痔病、子宮病、胃腸病、營養不良より起る諸病の滋養強壯劑なり

■外用 効能
神經痛、腰痛、火傷、凍傷、打傷、切傷、腫物、肩凝、虫に螫れた時、筋の張た時等によし

正氣堂名刺舖
京城本町二
期日正確 送料無料
電話二一九五番 振替京城一二八三番

工事請負公告

一、京城府茶屋町土橋架替工事

此入札保證金各自入札金高百分五以上

入札者ハ京城府内ニ於テ國稅、地方稅、學校組合費年額弐拾圓以上納ムル者ニシテ二ヶ年以上同業ニ從事スル者ニ限ル

右工事ハ大正五年六月京城府條例第二號ニ依リ入札ニ附ス希望ノ向ハ本府會計係ニ就キ工事仕譯書、圖面閲覧ノ上九月四日午前十一時限リ入札スヘシ

此入札ハ朝鮮總督府府尹金谷充擔當契約ス

大正五年八月二十八日　京城府

至急警告

おそるべき惡疫は諸君の脚下に迫まりつゝあり

之を防ぐべき唯一の武器は

純生粹葡萄酒（七大醫學博士の賞讚を博せる）

赤玉ポートワインなり

■朝夕の一杯は本滋養酒の豊富なる殺菌力によつて絶對的に諸君を永遠に安全ならしむ

■躊躇せらるゝ勿れ■直ちに求められよ！

内科
胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話二一七二九〇番

秋の空氣は極めて清澄で些の濕氣も含で居りませんから
虫干に最も適當です
お片付の節は是非世界一の防虫劑
鍾馗印をお入れ遊ばせ
定價 大形金二十[illegible] 中形金十[illegible] 小形[illegible]
代理店 京城南大門通り 新井藥房
各地賣店にあり

開店廣告
建築用材一切（鴨緑江産 内地産）
平壤本町 和柴商店
電話一五番

土木建築請負
平壤本町 和田組
電話一五番

内科 小兒科 入院隨意
院長 中島貞信
京城明治町（元青年學校跡）
中島醫院
電話二七八

豫報

[illegible]

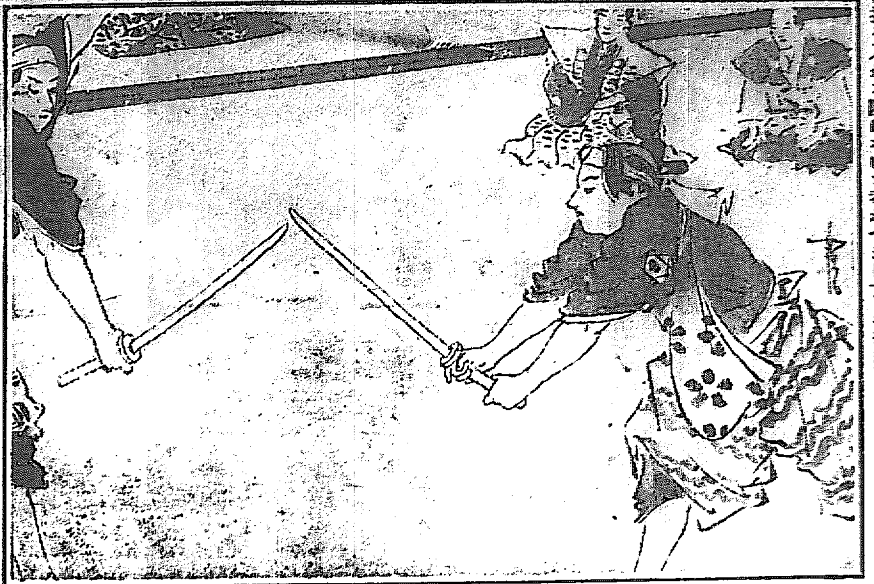
大正五年八月三十日より
[illegible]座

宮本武藏

第百四十五回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

其中宮本武藏氣合を計つたものか、ヤツといふと陰曲の構へを崩して右劍を上段に取り、左劍を前に突出して活殺の構へに直した、其變化は目にも止らんほどであります、四郎は今武藏が構へを直したためヒヨイと氣合を破られた、實に天下の名人は宮本正名、到底技倆で及ぶ所はないが勝し飽きで戰つて斃たざる迄も相打にといふ決心、此氣合を外して外に打を入れる隙はないと考へましたから今武藏が活殺に構へる途端、ヤツと一聲、上段に取直した木劍、飛鳥の如く眞正面から飛込んで只一打と打下ろした、咄嗟と見る間に宮本正名左劍を以つてガツチリ受止め、右劍を上げて打たんとする、仕損じたりと時貞木劍を引放して再たび打込んで來るのを今度は右劍を以つて引拂らひ左劍を以つて小手を打たんとする、左はさせじと飛交がひ張上げたる木劍拳も折れよと躍上がつて頭上目懸けて打下ろす、心得たりと正名、左右の木劍をバツチリ十字に組んで受止めた、ハツと思つて時貞木劍を脫かんとすれどもいつかな脫けない、之れは不思儀と力一杯に引くがピツタリ釘付けになつた如く更に脫けない、之が宮本の極意とする神妙十字の劍、之れを破つたものは只の一人もないといふ古今不思議の妙手であります、時貞何思ひけんバラリ木劍を投出だして飛退り、四『恐入りました、神變不思議の御妙手、弱年と申し未熟の私、遠く及ぶ所でございません』とお辭儀をした、宮本も木劍を納めて 武『イヤ未だ勝負はございません御謙遜なさらずお打込下さるやう 四『イエ〳〵私の及ぶ所ではございません恐入りました』と平伏して居ります樣子、太守越中守殿 忠『宮本什麽ぢや 武『見事の技倆にございます、始終の勝負は相分りませんが恐らく手前と互角かと存じられます 忠『左樣か、四郎モウ宜い分つた 四『ハツ 忠『大儀であつた、樵之亟追つて沙汰いたす今日は引取ろやう 樵『ハ、ツ 忠『盃を遣はす待て』之れから御前に於てお盃を下し置かれ、益田時貞に於ては有難く頂戴してお暇を頂き、須佐同道にて退出いたしました、家中の人々も例も變らぬ宮本の技倆に敬服して噂とり〳〵、引退がつて往く、跡に君臣只二人と相成る 忠『什麽ぢや武藏、四郎は 武『恐れ乍ら四郎お召抱への義は御無用に遊ばしますやう 忠『ハア無用にいたせと申すか 武『技倆は御覽あり如く少年には珍らしき達人、しかし乍ら什麽も手前心に適はぬ處がございます、上智は學ばずして知るとは申しますが餘り出來過ぎて居ります、奇を求むることを戒めますは聖人の敎へで必らず善い事はございますまい、彼いふ少年は才智が溢れ過ぎて自分で自分の才智を持扱かふもの、譬喩に申す能なき苦しむといふのは其事で傍らに上能の人があつて之れを導きますれば格別、左もない時には身にも及ばん所の希望を起しますもの、殊に諸國浮浪の浪士など、交際もいたし居るとの事、如何なる無分別を起すやも知れず、其れがため御當家の迷惑と相成つては一大事でございます、此儀は平に御沙汰止め相願ひたく、四郎儀は相當の御手當を賜ひ其儘御差戾し之れある方然るべくと存じまする』と申上げた、忠利侯も名君 忠『左樣か、其方の申す所、尤もである然らば召抱ねの儀沙汰止めにいたす』と仰しやつて其翌日須佐樵之亟を召出され、右樣の御沙汰、四郎儀は思ふ所あつて召抱へぬに依り手當をして差戾すやうといふ上意、樵之亟大きに失望いたしましたが據ない、君命でありますから承はつて屋敷へ歸り四郎に其趣きを傳へました、四郎此事を承はつて怒るかと思ふとニツコリ笑つて 四『左樣でございませう、私も昨日から御沙汰止めになることゝ存じました 樵『ハア什麽して御存じか 四『宮本といふ方は天晴な御方那の方がお在での中は細川の御家は大盤石でございます』といつたが四郎も流石に宮本の人物に敬服したと見ゆる、後に天草の合戰が初まつた時越中守忠利侯宮本正名の先見に驚かれたといふ事であります。



▲新古書籍販賣 ●京城本町一▼
雜誌廻讀會員募集 松井松榮堂書店
▲古本高價買受 ●電一三七八▼

九月一日九星
舊八月四日 辛丑
本命二黑 坤 取 大安

▲二黑 安心して損をする事有日注意 新事見合 東方は吉時節 坤 ▲三碧 粗忽な事有日 落付て新事手掛ける事は吉 女難失物に用心の事▲四綠 小間な事有日 新事手掛ける事は吉 一切のかけ事を禁ず▲五黃 不吟味の事有日注意 新事手控宿の事は吉▲六白 否去て來來るの日萬逝で利有女子は一層喜ぶ事有待人來る▲七赤 有望の日轉居入學金談名弘求職 金件築造 婚禮貿易業等 萬吉▲八白 殺風景の事有日 新事手控ぐ事は吉 衣服借の口入等せぬがよし▲九紫 大利の日 轉居開業入學 名弘金件求職 探險 出漁 婚禮 電氣利用業等皆吉▲一白 利に見ゆる事の損となる事有日謹而新事手控ぐ事は吉衛生注意

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版 亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て廉價に迅速と叮寧親切を旨とし御需めに應ず
京城日報社 寫眞製版部

斯うして
腦神經衰弱を治療せよ
＝只に葉書一枚＝神經衰弱の跡方もない＝終日閑かな氣分で暮せる＝簡易なる治療法＝

◆どういふ譯だらう…頭腦が惡い男だ』と冶評するのは實際生きて行けない男だと云ふに均しい、生存競爭に負ないで自分が授かつた丈けの天命を圓滿に終了するには是非とも健腦の法を努めねばならぬ。然るに此頃は紗に氣が滅入つて何だか大きな自然の眞中へ自分ばかり縈然として投り出された者の樣に思はれて、不安恐怖が常なとして抑迫つて來る、一時悲して遠峡厄難者になつたのだらう。

◆よく考へて見ろこ…何でも新しい事に屈する、自分が纒な氣分に捉はれて物事か一切落着かすいくら元氣を勵ましても直に倦怠して目はほさする耳は是に詰つたやうな鳴るやうな惡感を强ひ、落膽して襄反べつて見ると室間には無數の光線玉が爭ふて上下するのが散見くのである、晝懶く夜は眠られず、四時不合理な幻想が矢鱈に涯れ果てた心神を苛める。

◆心細い話である…氣が浮立たないから自然五官の作用も不規則である身體の衰弱は目立つた骨節に瞭手現はれ、面倒臭いとか五月蠅とか云ふ無氣力な心になつて少しの事に焦つたり怒鳴つたり心配したりして吾乍ら醜態した人間になつてしまつたものだ。

(原文の儘)
拜復陳者手紙の提案によれば近頃神經衰弱と想像致され候、之には小生も大學時代に於て經驗あり諸種(分は方法)を講じても其効なかりしが偶々良藥レーベンのあるを聞き服用せし所わり至急東京市銀座弓町二十二中南氏宛注文出ださるべくなすれば常持醫學士著『腦神經衰弱療法』の冊子寄贈さるべく詳細は之にて御諒解有之べく餘は四後便にゆづる
正夫どの　兄より

◆之は神經衰弱だ…記憶力は昔日の萬分一もなし判斷力理解力決斷力の滅亡して憂鬱病に陷り曲解し臆測して世を呪はんとする精神上の無能力者となつたのである。上に述べた樣な哀れな境遇に泣く者は廣い世界に幾百萬人と數限りない。

◆兄の忠言を聽て…此病氣が薄紙を剝ぐ樣に療つたのだから道麽嬉しい事はなかつた、諸多の賣藥に散々手數を掛けても癒らないのだから駄目だらうと疑ひ乍ら『一錢五厘捨てゝ參』で東京[illegible]二十二…弘濟院中南定太郎氏宛葉書を出して見た、中南氏は常持醫學士著『腦神經衰弱療法』の冊子を直ちに無代で寄贈して呉れたのである。平易で解り易く一々背かるゝ方法が書いてあつた、之と同時に同學士發見の腦病良藥レーベンのある事が解つた、常持氏が數年の粒々たる辛苦は漸く健腦劑レーベンの發見を以て勳業を就げられたのである、錠劑レーベンは腦病患者に對する一道の光明であつて成功榮達の指導者である。

◆權威者は推奬せり 岡田醫學博士有效證明を初め諸大家は、熱心に常持氏のレーベンを推奬して居る、レーベンが植物性の藥質を有する事腦の營養素リンサンを多量に含有する事、加ふるに米麥を常食とする日本人に最も反應を與へる樣に製出された譯である。

◆名藥レーベン 腦病藥は世に少くない、然し乍ら眞面目に其天職を果し得る物は一はあるであらうか、中には誇大な効能を吹聽して粗藥を賣附ける奸商もあるそうである、レーベンは獨斷的に其善美を自負する者ではない、試みに信用ある公平な、藥舖に就いて百千の腦病藥中レーベンが優越して實効に富める最善の良藥なるかを尋ねたなら『乾度効力顯著ですから』と云つて即座にレーベンを示すのが事實である、大きい樣だが國民救濟、少くとも腦病患者の救濟を以て自ら天職と信じて居る弘濟藥院は所謂賣藥屋では決してない、良藥レーベンを求められると否とは別問題である、只腦病で苦しんで居る人、其兆候ある人は療法だけでも知つて置く必要はある、葉書一本を東京銀座弓町二二、弘濟院、中南定太郎宛に寄越されよ、前記常持醫學士述『腦神經衰弱療法書』を無料直送するのである、遠慮は無用今直に申込あれ

名譽
醫學博士 高木兼寛先生(東京)
慈惠醫院長 櫻井郁治郎先生(東京)
ドクトル 産科婦人科專門 木村順吉先生(東京)
産科婦人科專門 朝山義六先生(橫濱)
醫學博士 佐伯理一郎先生(京都)
大阪緒方病院長 醫學博士 緒方正清先生(大阪)
ドクトル 産科婦人科專門 小林山郷先生(大阪)
愛知病院長 醫學士ドクトル 柴田耕一先生(名古屋)
其他我國一流の婦人科專門の諸大家先生方の名譽ある賞讚を受けたり

卓絶無比の効驗
唯一の婦人藥たる證據は
何より難治の婦人病が
靈藥 中將湯の服用で
全たく癒つて此の如な
强健な子寶を儲けた多くの事實

婦人衞生手引
御申込次第無代進呈
本書は月經時の手當を始め、婦人諸病の完全なる家庭療法、産前産後の攝生法等を知名の專門醫學士が親切平易に述べられた婦人必讀の寶典で送料として郵券二錢を添へ御申込みあれば無代進呈致します

主効
●子宮病 ●婦人神經 ●逆上頭痛 ●夜眠れず ●腰加答兒 ●下腹痛み ●産前産後 ●難産流産 ●月經滯り
●血の道 ●氣ふさぎ ●癇高ぶり ●內膜炎 ●こしけ ●腰足冷込 ●つはり ●月經痛み ●血ぶとり

定價
二日分 二十錢
四日分 卅五錢
一週分 六十錢
三週分 一圓六十錢
五週分 二圓五十錢
▲加減藥あり容體詳しく御申込みあれ
加減藥定價
一週分 七十五錢
四週分 三圓五十錢

中將湯 本舖
東京日本橋通四丁目 津村順天堂本店 電話本局 六十二番 六十三番 振替口座 六〇八番
大阪市堺筋大寶寺町 津村順天堂支店 電話市 二十五番 振替口座 四五六番

□中將湯は世界到る處の藥店にあり

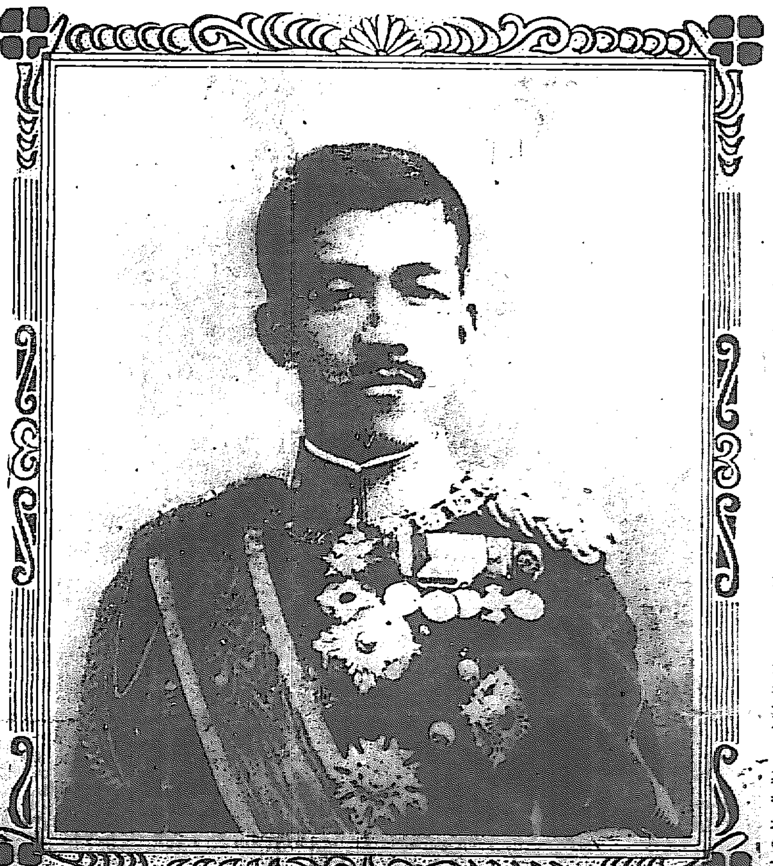
大正五年八月三十一日（木曜日） THE KEIJO NIPPO （一）
（明治三十九年九月一日第三種郵便物認可）
年中無休刊

京城日報

三十一日朝刊（夕刊と合せて八頁）

發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

天長之佳節



經濟資料

朝鮮の陶器工業（三）

—實際的經營の一方案—

□京城に好適の家庭的經營（續き）

京都は古より美術の盛なるところにして、相當の便宜を開く時は美術的工業の發盛を來すべき素質を有す即ち陶器業に於ても二十五萬圓の資本金を有する日本陶料株式會社ありて此所に完全なる設備を有し、充分の試驗を積みたる調合法に依り各地より蒐集したる多量の原料を以て素地、釉藥等を製作し、又陶窯を有し燒賃を徵して燒成するを專門とせるものあるを以て小製造業者は同會社より素地、釉藥等を購入して製作を爲し陶窯一室若くは一建を借り所要の松薪を窯元に提供する時は完全なる製品を得、故に陶工は僅か六十圓の資金を有する時は一の小製造業者となることを得と云ふ。

元來陶器の製造に於て小資本家の困難を感ずるは原料陶土の破碎に要する機械、場所、建家及び陶窯等に對し多大の資本を固定せしむるを以て一度事業を中止せんとするに當り此等固定資本は處理上大なる不便あるを思ひ斯業を開始し得ざるもの多く、又假令之を開始し得たりとするも小資本を以て不完全なる設備に依る時は優良なる製品を得ること困難なり、從つて我が京城に於て陶器業を開始し之を殷盛ならしめんには先づ大資本を以て會社組織の經營に依り優良なる技術者、精巧なる機械器具其の他完全なる設備に依りて大製造を爲すに如くものなしと雖も、俄に多數の技術者を養成するが如きは稍困難なるを以て、前述の京都に於けるが如く多數の個人的工場に於て各々熱心に其の術を練り夥多の熟達者を得たる後始めて大規模の工場經營に移すを最も成功に近き方法と爲す。而して都會の地に於ては土地不廉なるのみならず、陶土破碎の機械原料の運搬費等小資本にては堪へ難く其の他素地、釉藥、陶窯等も良好なるものを得難く、製作上多大の不便を蒙るべきを以て、陶料會社の如き方法に依り多量に廉價なる原料品の購入を爲し、當中央試驗所に於て研究したる最良の調合法を用ひて完全なる設備に依り素地、釉藥其の他のものを製造販賣し、又陶窯の如きも該原料供給者に於て設備するか或は便宜の場所に設けて各小製造業者の委託に應じ、專門の技術者をして作業に當らしむるか、或は料金を徵して之を貸與するが如き方法を採る時は極めて便利にして良好なる成績を見るならん。尤も其の當初原料需要者の少き間は供給者自らも製造せざれば收支相償ざるものあるべし京都の粟田燒の如き、又横濱の宮川香山氏の如き殆んど其の製作品の全部は美術的の輸出品にして其の他京都、愛知、淡路、東京、福岡等の各地方に於ても石膏型を用ゐて小さき一輪活、小人形其の他各種玩具類の製作を爲しつゝあるが、歐洲戰亂以來英、米、南洋等より來る多大の注文品に對する供給力を缺ぎ、爲めに斯業模型科修得の學校卒業者の如きも亦一般製造業者の需要に應ずる能はざるの盛況を呈しつゝあり斯くの如き好時期に當りて我が京城の如きも前記原料供給の機關を設け半家庭的に、半工場的に製造を爲す時は小規模の經營なりと雖も、同一の原料並に陶窯に依りて製作せらるゝが故に製作品も比較的統一せられ同質、齊一のものを得られ輸出向としても不適當ならざるべく、又家庭的副業としては石膏型の鑄込成形の轆轤成形等の作業より上繪付、縮描等に至るまで比較的高尚なる副業なる爲め一般無職業者に依りて歡迎せらるべく、大なる困難を見ずして作業の普及となり、多數の技術者の養成となりて或は本事業の急速なる進展を見ることあらん（完）

原蠶種と收繭

△原蠶種製造高 大正四年度の成績概況 原蠶種とは勸業模範場原蠶種製造所より配付せる原蠶種を以て道蠶業機關に於て製造し蠶種製造者に配付するものを謂ふ、大正四年の各道に於ける原蠶種製造高は春蠶種又昔五千八百三十六枚、同青熟二百十三枚、同小石丸九百六十三枚、夏蠶種新屋二百六十三枚、秋蠶種白龍一千五百七十九枚、合計八千五十四枚なり、其の成績の概要の如し

△掃立及び收繭量 原蠶種製造用に掃立たる蟻量は各品種を通じて二百六十三匁五分にして其の收繭量は上繭七十一石七斗三升七合、其の他十一石五斗九升一合、合計八十三石三斗二升八合を算し、掃立蟻量一匁に對し最多三斗六升七合、最少二斗三升五合平均三斗一升四合の割合なり、其の內種繭に供用したるは二十四石一斗一升八合にして上繭に對する種繭歩合は最多六割七分、最少九分、平均三割四分に當れり、種繭一升の顆數は又昔二百五十九顆、青熟二百七十一顆、小石丸二百八十七顆、新屋二百七十九顆、白龍二百五十顆にして一升に對する繭層量は又昔及び青熟十五匁三分、小石丸十三匁四分、新屋十二匁五分、白龍十四匁七分にして原蠶種製造數は各品種を通じて掃立蟻量一匁に對する最多六十八枚、最少六枚、平均三十枚にして有毒歩合は又昔千分の一〇四、青熟零、小石丸千分の〇、六、新屋千分の五九〇、白龍千分の三〇四、其の總平均歩合は二〇九なり

△蠶種選別注意 以上の成績を通覽するに收繭量及び繭層量の割合は內地各府縣原蠶種製造所の最近成績に比し殆ど遜色なく蠶種病毒歩合の僅少なるは內地に於て多く其の比を見ざる所にして朝鮮製種業の爲め洵に欣ぶ可きことに屬す、然れども或は種繭の選擇不充分にして上繭量の六割以上に及び或は一升の顆數二百八九十顆以上の小粒のものを供用し或は掃立蟻量一匁當り五六十枚甚しきは七十枚に近き原蠶種を製造せる地方ありて改善を要すべき點少からざるを以て原蠶種製造上の設備不充分なる地方は速に之を完備し精良なる原蠶種の生產に努めざる可からざるなり

公告

京城地方法院

左ノ不動產ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス
入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

●京城府西大門町貳丁目百貳拾番地
一垈五拾六坪
最低競賣價額金參百參拾六圓也
右地上ニ建設
一木造草葺平家建本家壹棟
此建坪貳拾九坪九合貳勺
最低競賣價額金壹百圓也
右競賣申立人 金景式
不動產所有者 姜信程

●楊州郡別內面退溪院里省字壹〇六
一田六日半耕
最低競賣價額金壹百九拾六圓也
一同所省字壹〇六ノ壹
田貳日耕
最低競賣價額金六拾圓也
一同所省字壹〇七
畓四斗落
最低競賣價額金壹百〇八圓也
一同所省字壹〇八
田壹日耕
最低競賣價額金參拾圓也
一同所省字壹〇八ノ壹
田半日耕
最低競賣價額金拾五圓也
一同所省字壹〇八ノ貳
田半日耕
最低競賣價額金拾五圓也
一同所省字壹〇九
畓五斗落
最低競賣價額金壹百貳拾五圓也
一同郡冀乾面法洞日字壹四
田貳日參息耕
最低競賣價額金六拾壹圓也
一同所日字壹四ノ壹
田貳息耕
最低競賣價額金六圓也
一同所日字壹四ノ貳
田壹日分耕
最低競賣價額金參拾錢也
一同所日字壹四ノ參
田壹分耕
最低競賣價額金參拾錢也
一同所日字壹四ノ四
畓四斗落
最低競賣價額金百貳拾圓也
右競賣申立人 徐丙仁
不動產所有者 金容國

●京城府西大門町壹丁目百七拾九番
一垈四拾七坪
最低競賣價額金參百九拾九圓五拾錢
右地上ニ建設
一木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪貳拾七坪參合壹勺
最低競賣價額金壹百六拾四圓也
右競賣申立人 金南興
不動產所有者 金昌演

●京城府三清洞六拾貳番地
一垈九百八拾八坪（一）
最低競賣價額金八百八拾九圓貳拾錢
右地上ニ建設
一瓦造瓦葺平家建本家壹棟（二）
此建坪參拾壹坪壹合
附屬建物木造草葺平家建壹棟（三）
此建坪七坪八合
最低競賣價額金參百拾六圓五拾錢
●京城府三清洞六拾貳番地
一木造瓦葺平家建本家壹棟（四）
此建坪貳拾坪九合七勺五才
最低競賣價額金壹百五拾四圓也
右競賣申立人 秀島
不動產所有者 李邦協

以上競賣期日ハ大正五年九月拾六日午前拾時トス

金剛山へ

京元線平康驛より臨時自働車を通ず
平康末輝里（金剛山入口）間賃金如左
一人金十三圓五十錢（二人の場合一人に付金十一圓五十錢三人の場合同十一圓四人の場合同九圓三十錢）
平康金城間毎日定期運轉す賃金片道一人金三圓其中間金化迄一圓五十錢
何れも上下汽車時間に接續す如左
平康發車正午十二時同發車午後二時
諸事御照會は電話九六五番へ

燈下家庭の讀物 大陸婦人界

大陸婦人界

初秋號

◇口繪 ■表紙意匠當選者
◇貞操と上流婦人……湯原元一
◇婦人修養の根本義……持地ゑい子
◆嫁姑和合の秘訣……中野武營
◇子供と家庭の教育……高島平三郎
◇夫人との對話……成田忠良
◇未亡人再婚問題
◇夫婦別居問題……工藤忠輔
李王世子殿下の御婚約を壽ぎて……牧山耕藏
◆女子の曲ぐるな……太田秀穗
◆男と女との問題……高島米峰
◇娘を嫁入らせた感想……山形大佐夫人
◇婦人よ島國を出でよ……三輪田元道
◆家庭小說 停留場……春江
◆娘の愛に泣く片輪女……石森胡蝶
◆福ちゃん物語……三木露江
◇乃木大將夫人の逸話
◇若かき女よ
◇短文……石森胡蝶選
◇目につく浦潮の色々
◇凌辱と貞操……宮田修
◇短歌……角田廣選
◇秋が來た
◇戀の悲劇
◇敎會めぐり記
◇俳壇……青木郊舒選
◇初秋雜感……角田不案
◇秋の七草
◇今昔娘對照記……秋子
◇實感……在鮮諸夫人
◆子福者の家庭
◆家庭訪問の記
◆編輯局より
◆現代の結婚
◆嫁と姑……ポスト
◆令孃通信……渡邊可壽子孃 三好靜江子孃
◇早婚がよいかまた晩婚がよいか……工藤ドクトル
◇家庭の衞生
◇お婚禮の顧問
◇九月の献立表
◇肉親愛を論じて世の父親に與ふ

大陸婦人界は米の飯でありますすべての家庭に一日もなかるべからず
購讀申込所 京城太平通二丁目 大陸婦人界社 電話長二四〇〇番 二〇七〇番 振替口座京城二〇〇〇

祝天長佳節

サッポロビール

アサヒビール
國產ビール
■供給界の驚異!!!
■需要界の驚異!!!

大日本麥酒株式會社

◎立太子式御執行期

愈々十一月三日と御決定

皇太子裕仁親王殿下立太子式は愈々來る十一月三日宮中賢所大前にて御執行の事に決定したるに付三十一日天長節の佳節をトし官報號外を以て波多野宮相より其の旨公告せらるべしと聞く來る十一月三日は明治天皇天長節に相當し恰も今上陛下が明治二十三年同日を以て立太子式を擧げさせられたる由緒深き吉日なれば重ね〲寔に目出度極みと申すべけれ（東京特電）

◎蒙古軍愈々歸還

巴布札布馬賊團を引見せんと主張す

討伐軍、蒙古軍間に愈々休戰協定成立し蒙古軍は九月一日日本騎兵に途中迄監視され歸還することに決定せるが巴布札布は目下蒙古軍に合併せる滿洲馬賊團八百名を連れ行かんと主張しつゝあるも張督軍は之を危險なりとして承認せず今尚交渉中なり（奉天特電）

◎徹頭徹尾歡喜の辭

羅國宣戰と巴里及羅馬の論評

リバープールに於ける小麥相場は羅國宣戰布告に依り四志四分の一の激落を見たり尚羅國の宣戰に對する巴里及び羅馬に於ける論評は徹頭徹尾歡喜の辭を以て充たされ之れ敵國に對する正義の歴史的痛撃にして敵國の大難に遭遇すべき時代は開始せられつゝありと（倫敦電報）

◎宣戰布告と維也納

ゼネバ來電維也納よりの電報に曰く一般の維也納人士は羅馬尼の宣戰布告は豫期せざりし所に非ざれども愈々宣戰の布告を見るに至りたるを以て痛烈に憤激しつゝあり（倫敦電報）

◎墺匈聯邦會議召集

アムステルダム來電に曰く伯林よりの公報に據れば羅馬尼の對墺匈國宣戰二十七日布告せられたるに對し聯邦會議は直ちに召集せられたり（倫敦電報）

◎注目すべきソンム戰

ソンム北方に於ける英佛兩軍は其の後更に前進しつゝあり數個地點に於て英軍は佛軍と其の戰線を併行せしめ最近兩軍の獲得せる陣地は總て確實に保持せらる特に注目すべきは獨軍が一度聯合軍に依り此の方面の陣地を占領せられんか獨軍は如何に藻掻くとも之れを奪還し得ざるは瞭かにして此の一事は猶々聯合軍の優秀なるを證明するものなり（巴里電報）

◎勃軍のカバアラ入城

英軍艦此れに砲撃を加ふ

サロニカ來電に曰く勃牙利軍は八月二十五日カバアラ（サロニカの東方約八十哩に在る港）に入城し同市駐屯の希臘兵は八月二十二日雅典より發せられたる命令に從ひ二堡壘の外他の全部の武器彈藥を其の儘にして勃軍に引渡したり英國軍艦は直ちに同所に砲撃を加へたるが多くの堡壘は陣地として殘存し居るや否や不明なり（倫敦電報）

◎鐵道勞働制度提案

ウ大統領の聯合會議に於ける説明

ウヰルソン大統領は上下兩院聯合會議に於て演説を試み全國に亙る鐵道從業者の同盟罷工が國家に與ふべき災厄の甚大なる事を述べ一日八時間の勞働制度を基礎として紛爭當事者間の妥協を促さんとせる大統領自身の調停に就き詳細なる説明を與へ且曰く從業者側代表者は余の提案を承諾したれども鐵道會社側は余が極力斡旋せるにも拘らず之を拒絶せりされど會社側は結局社會の同情ある後援の下に成りつゝある勞働組合の合同運動に依り一日八時間の勞働案を承諾せざるを得ざるに至るべしと結びたり尚ウヰルソン大統領の議會に提案せる所は次の如し（華盛頓電報）

一、聯邦委員會の擴張
二、鐵道從業員の爲め一日八時間勞働制を確定する事
三、特別委員を任命して一日八時間勞働制度實施の影響を調査する事
四、聯邦委員會に對し運轉率を規定するに當り一日八時間勞働制に依りて生ずる鐵道會社の負擔を衡量する權限を與ふる事
五、中裁な判法を確定して產業爭議の發生せる場合該爭議事件の調査中は同盟罷工と事業中止を禁ずる事
六、大統領に對し軍事上必要ある場合には鐵道を經理するの權限を與ふる事

◎李王世子歸京

陸軍士官學校教官學生六百八十餘名と共に水泳演習の爲め沼津及び島郷に御出張中なりし李王世子殿下には右生徒の一行と共に三十日午後一時十四分東京驛著列車にて御歸京相成りたり（東京特電）

◎福田少將光榮

福田少將の一行は戰線より歸還したるが露帝は同少將の爲め午餐會を催され尚露帝は福田少將にアンネ一等十字勳章と刀緒を贈られ隨員一同も亦同じく各種勳章を拜領せり（露都電報）

◎辭令

三十日左の如く辭令ありたり（東京特電）

任朝鮮總督府判事（五等）　判事　尾家準
任朝鮮總督府判事（六等）　判事　森開造

日露協商と露國人

彼の國民性を看過する勿れ

早稻田大學教授　永井柳太郎氏談

予が今回の旅行は新に日露協約の附帶案件として露國より日本に讓渡せらるべく目下頻りに交渉進捗中なる東清鐵道支線半斷及び第二松花江航行權の實際效果如何の研究にありしが予は先づ右二案件が日本のものと成れるとしても日本人が大歡迎大期待する程に經濟的價値あるものとは思考せずと斷言す元來

▲東清鐵道半渡の日本側移 老少溝驛は長春より七十一哩の地點にありて第二松花江岸に臨める一帶の丘陵上にあり對岸陶賴昭は現在第二松花江の船著き場なれど附近低窪地にして後方は數哩に亙る沼澤なれば市街を開むるに不便あり老少溝の丘陵上より東方を俯瞰すれば一望千里の平野遠く哈爾賓迄連續し軍事上より見んか北滿に於ける無上の好地位たるを失はずされど之を經濟上より見るに於ては蓋し

▲豫期に反せる ものあらん奈何となれば此附近一帶の經濟的價値は言ふ迄もなく穀類にあるが滿鐵の吸收力は支那馬車をして遠く第二松花江南岸一帶に亙れる產穀を殆んど總て長春に招致し居りたるより新に滿鐵の勢力老少溝迄及べりとしても決して期待せる程の增額を來さゞるべしと思惟せらる更に第二松花江航行たるや第一に穀類出盛期たる半年は結氷し自餘の半年度を通じ而して雖も元來が水淺く川底砂礫多き爲め淺深の效無きより僅に增水を利用して輪船を運航せしめ平時は辛く戎克を通せしめ得るに過ぎず是れ吉林哈爾賓間哈爾賓伯都訥間に亙る第二松花江殆んど全流に對する狀態にして之が航行權を得たればとてさして得る所なきは當然ならん日本人は協約の成立に對し殆んど熱狂的に大歡迎を爲したるが露人は之に對して

▲風馬牛の觀 あり日本人として頗る心もとなきは等しく感ずる處なるが予は之に對して三個の原因あるを認む歐洲大戰勃發して露國が殆ど國を賭して戰ふ事は國民が生命より好愛せるヴオドカの飲用を禁じたる事實にても反省すべく之によりて政府は年收五億乃至七億の犧牲を支拂ひ居る程なり斯の如き大戰の當初に於て露國の最も憂慮とせる處は日本の態度にありしが必ずや日本は日露戰爭以來日未だ淺き事なれば極東に兵を進めて其領土を犯すに至るべしと期しゐたるが事實に於ける日本の態度は與國として共同の敵に向つて矛を執つて立ちたるのみか剩へ或は軍器、軍需品を供給し或は兵士輸送に就き力を致す等正に東洋君子國の名に耻ぢざる行動として熱狂して之を歡迎せり其行動たるや全く仁俠の義行なりと認められ大に其行動を德とし多としゐたりしに最近に至りて締結せられたる協約に據れば附帶案件として東清鐵道支線半斷の讓渡に加ふるに第二松花江航行權てふ利權迄へられ居れり恰も斯くんば曩に德として歡迎したる任俠の態度は實は皮相にして

▲事實は利權を 目的とせる好意たりしなりとの一種の誤解を生じたるが爲め一部には日露協商に對し面白からざる感念を抱くに至れり此理由を一とし第二理由としては露國人の國民性に依れるものなるが元來露國人たるや日本人乃至佛蘭西人と相反し喜怒を色に現さず思ひを內に潛めて思案するの習癖あり今回の協約に對しても一向に喜ばざるの色を示せるは事實斯の如き理由も存在せり更に第三原因としては露國人の魯鈍に因せるものにして一億數千萬の人口中一億餘は目に一丁字なき無學の者のみ斯の如く教育普及せず無學の衆を以て成る國民の事なれば日露戰爭にしても利害存在を承知し居らず況や日露協商の如きに於ては更に

▲利の在る處 を知らざるのみか害の存せる處をも辨へずと云ふが如き有樣なり之が祝賀を爲さゞるは寧ろ理の當然にして更に責むる餘地だも存せざるなり斯の如く大體に於て日露協商に對して歡迎せざるが如き傾向ありと雖も其智識階級とも稱すべき人士に至つては利害のある處を熟知し居り日本の眞意を知悉して相當謝意を表し居れる事言ふ迄もなく予が今回の旅行によりて會見せしゴンダッチ總督にしても東清鐵道商業部長チサコフ氏にしても總て此意味に於て熱誠ある言辭を吝まざりき

◎鮮銀改制

九月一日より實施

朝鮮銀行にては九月一日より行內局課の改制實施を行ふ事となりしが其の內容左の如し

▲營業局　支店課、出納課、營業課
▲庶務局　庶務課、發行課、地金課
▲國庫課
▲調査局　東京支店內調査支局
▲檢査局　課の分屬なし
▲秘書室

乃ち從來の職制に比すれば國庫局廢止されて庶務局內の一課に縮少され出納局も同じく廢止の上其の分課たりし出納課は營業局に地金課は庶務局に移されたり而して檢査室は之れを擴張して局に上し更に調査局內に東京支局を設けたり更に新名稱の課は支店課及び庶務課なるが支店課は審査課の改稱にして庶務課は文書課を改めたるものなし又職制にも改正を加へ副司事及び書記補を除き副司事は全部司事に書記補は之れを書記に上したり

定例休刊

明日は天長節の翌日に付定例休刊す

◎課長店長異動

局長は營業局長に高瀬梅吉氏庶務局長に山田松熊氏は從來の如く檢査及び調査兩局には當分局長を置かず秘書役は大原顯夫氏一人となり檢査役兼秘書役島雄五郎氏は別項就任と共に秘書役を免せられたり

朝鮮銀行にては別項局課制改正と同時に九月一日附課長支店長に左の如く異動をなすべしと

營業局支店課長　平壤支店長　阿部秀太郎
庶務局庶務課長　檢査役　島雄五郎
營業局營業課長　審査課長　佐藤得四郎
庶務局國庫課長　文書課長　飯泉幹太
平壤支店長　鎭南浦支店長　津村甚助
鎭南浦支店長　平壤支店次席　久保田積藏

人事消息

▲大田敬吉氏（ナショナル社長）入京中の處二十九日退京
▲古賀三千人氏（臺灣製糖取締）入京中の處三十一日朝退京

■南言北語■

內地では大分虎列剌が流行して居るが元來虎列剌なんかと云ふ奴は油斷から來る▲其れ來たと云つて騷いだつて追つ付くものぢやない其處は朝鮮などは明治四十年の虎列剌で大分經驗があるから今度なども左程かはいらすまい▲と云つて却々油斷はならぬから要心な▲虎列剌と云へば虎列剌菌に就ての逸話を一つ二つ紹介せう▲ビスマルクが獨逸の大宰相だつた時反對黨の領袖に醫學の泰斗ウヰルヒヨーと云ふが居た▲或時ウ氏の政府攻擊が頗る猛烈であつたのでビ公は烈火の如く怒りウ氏の試驗室に飛び込んで決鬪を申込んだ▲ウ氏は少しも騷がず「委細承知した但武器の選擇は申込まれた方の權利だされば是れを二人で呑んで勝敗を決しやう」と黴菌液の入つた罎を指した▲約束の日にウ氏はチャーンと豫防の藥を服用して待つて居たがビ公は驚いたが今更ら尻込も成らず大に懊惱して居る處を仲裁人が這入つて危い所を助かつた▲有名なコッホ博士とペッテンハーフエル博士が虎列剌菌に就て大喧嘩を始めた▲コ博士は何んでも虎列剌菌を呑めば乾度虎列剌に罹ると云ふペ博士は胃腸が堅固なら反應を起さぬと主張した▲激論の末論より證據と云ふのでペ博士と其弟子のエンメリッヒと云ふのが有り合ふ虎列剌菌をグツト呑み下した▲ペ博士は虎列剌にはならなかつたが激しい下痢を起し弟子は重い虎疫に罹つたがやつと助かつたので喧嘩も五分々々の物別れとなつたと云ふ▲虎列剌も斯うなつて來た日にや全く玩具同然だ

祝天長佳節

新時代の代表的
好飲料なり
御愛飲を冀ふ

京城南大門通二丁目　鈴木商店京城出張所　電話二九二

百圓票空袋引換變更

斯界を風靡せし現代的良煙

從來京城に於て百圓票空袋二十枚に對し賞物一包進呈致候處來る九月一日より左の通り變更致候間精々御引換願上候

■百圓票空袋二十枚　パナナ 定價二錢五厘 壹包

芳薰優秀他に比類なき良煙

東亞煙草株式會社
朝鮮總販賣所

◎有名なる天勝孃一行來る？

今回當地有志各位の御勸めにより到る處大人氣大好評の松旭齊天勝孃一行の露國より歸朝の途次當地有樂館に於て開演最新新なる魔術奇術種々御尊覽に供し候間何卒賑々敷御來場の上御觀覽の榮を賜はらん事只管奉願上候

九月三日より同七日迄五日間　日延なし

天勝孃出演　　レヨユレイの叔母
各國流行ダンス、露國女優四名出演
電氣魔術應用テンペスト　其他奇術魔術種々

京城　有樂館

●不老不死の靈藥
朝鮮人の間に傳はる不思議の秘術

昔から朝鮮に傳はつて來た不可思議の事も近來大抵其の跡を絶たが茲に

▼一大不可思議 の事柄が昔から今に至つて依然として衰へずに秘密の間に信じられ行はれて居るこれから漢法醫金性球君の話を記して見ると不可思議の事とは斯である

茲に一つの靈藥が有る此の靈藥は支那及び朝鮮の人跡絶えたる深山幽谷又は絶海の孤島、海原の底を探つて多くの勞力――時には人命までを犠牲にして――の價として僅かに蒐め得たる稀有奇異なる動物――鳥にして魚の如きもの獸とも付かず、鳥とも人間とも付かぬ如うなもの、臓腑や精液を取りそれに珍奇なる植物の精とを錬り込んだ藥であるが此の靈藥を服する者は不死とまでは行かないとしても確かに不老の仙藥であつて九十才にして

▼猶壓藥として 壯者の如く顏面丹紅、鬢髮漆黑といふので少年時代の美しさと少しも異る處はない、これだけでも此の藥の効能の並々ならぬ仙藥である事は誰でも認承するであらうが此の藥の偉大なる働きは未だ〳〵これ位の處ではない、それは非常なる靈妙不可思議の力を服用者に與へて神と人との區別を一寸付け惡い位の豪い者とするのである、即ち此の効能は單に不老長生ばかりではない其の主なる働きは山を拔く力と世を蓋ふの氣力とを服用者に與へる、山を拔く力と云つても服用の當人が人間だから昔から北漢山を蹴上げてあんな形に毀して終つたと云ふ者はないが現に

▼京城の市中に も此の靈藥服用者があつて其の者の實驗を見て來た者の話に由ると、一寸小手調べをした丈けでも既に傍で見て居た者を驚かして終つたそうだ、成る程呆然としたのも驚いて引くり返つたのも決して無理ではない、其の實驗は到底人間の爲し能はざる事を易々と遣つて退けたからである、先づ最初に實驗者の前に運んで來たものは周圍一尺ばかりの不正方形の自然石であつた實驗者は其石を一寸撫て居つたが恰度搗き立ての餅でもお飯ちやにする樣に四五貫目の石を一寸摘ち上げて之れを

▼左の掌に載せ て置いて右の方の食指で其の石の眞中へグル〳〵と穴を貫して終つたそれから指の根まで石の中へ突込むと今度は其の穴の所を横に向けて石を寢かせて右手を柔らかく握つて冗談のやうに一つ毆り付けると石は美事に眞中から二つに割れた、此處に於て持に斷つて置きたいのは其の際に實驗者は鍼術道のやうにエイだのヤアツと云ふやうな氣合なとは決して掛けなかつた事だ、イヤ氣合を掛ける程本氣に成らなくても此の位の事はお茶の子に能きるのだざうだそれから大きな石の七、八つも毆り碎いた上で今度は太さ

▼一尺ばかりの 生松の丸太を三人の男が汗水流して擔いで來るのを、輕々と受取つて矢張りヤッとも云はず幹の眞中處から兩方へ引千切つて終つた此れも斷つて置くが決して古いセロリーの莖を老人が咬み切つた樣に切口が拗れたり捻ねくれたりなんぞしては居らぬ奇麗にプツトと大きな松の幹は切れて居つたと云ふ事だ、實驗談はまづ此の位にして此の藥を飲んでこんな力持に成り度い人の爲めに藥の製法と服用法に就て御話しする事としやう（つゞく）

●虎疫遂に關釜連絡船を襲ふ
高麗丸乘客に疑似患者發生

内地に於ける虎疫の流行は長崎を始め京阪神又は帝都の中央に迄病毒の蔓延を來し殆ど其停止する所を知らざるの暴威を振ひ居れる有樣なるが内地との

▲交通頻繁なる 吾朝鮮が一朝不幸にして此病毒の襲ふ所とならんか實に由々しき一大事なりしと警務總監部にては夙に釜山港内なる神仙臺に臨時檢疫所を設け虎疫流行地を通過し來りたる連絡船の乘客に對しては一時停留せしめ嚴重なる消毒を行ひ來りたるが恰かも三十日午前

▲釜山に入港し たる連絡船高麗丸の三等船客中原籍和歌山市五番町安田ちく（四八）は前記の檢疫所に停留中同日午後二時半頃に至り突然吐瀉を始めたるため檢疫所員は大に驚き直に檢鏡の結果疑似虎列拉と決定したるを以て同人には充分なる手當を施すと共に患者の乘船し來りたる高麗丸に對しては

▲大消毒を施し 船員の健康診斷を行ひ今後五日間船員の上陸を禁じ併せて五日間の休航を命じたり患者は本月二十六日和歌山を出發し電車にて大阪に來り直ちに汽車に乘換へ途中別府に二泊したる上二十九日午後下關發前記の高麗丸に乘船し京城に到著の目的を以て渡鮮し來たるものなり（釜山特電）

▼水原驛に九十七名を降車せしむ

卅日午後七時當驛著釜山發列車にては連絡したる高麗丸の乘客に虎疫發生せるを以て同連絡船に依りたる乘客にして一二等客二十九名、三等客六十八名は全部水原驛にて降車を命じ大消毒を行ふことゝなり一二等客は華城館三等客は山本旅館の兩旅館に又石塚農商工部長官夫人及び令孃令息四名は太陽館に收容し警務總監部及び京畿道警務部は大活動を開始し同日午後七時五十分南大門發の急行にて總監部よりは石田技師警務部よりは濱野警部等來水し直ちに水原慈惠醫員等と協力して糞便の檢鏡を行ひ居れり何分百名に近き人員の檢査を行ふことゝて容易に捗らざるも三十日は徹宵して三十一日午前中迄には全部終了する筈なるが其結果別に異狀なしと認むれば解放するか或は規定の如く今後數日間停留せしむるかは未定なり、何分水原驛前は突然の出來事とて一時は却々の雜沓を來し旅館の如きも如斯多人數を一時に引受けたることゝて時ならぬ悲喜劇を演じ居れり（水原特電）

▼大田の檢疫

三十日午前釜山に入港したる連絡船高麗丸に連絡せる同地發午前十時三十分の列車が午後五時大田に著車せんとするに先立ち釜山驛より電話を以て前記連絡船の三等客安田ちく（四八）なるもの神仙臺檢疫所に於て疑似虎列拉と診斷されたるを以て今朝の連絡船へ乘車したる旅客の降車者に對しては一時停留の上檢疫を行ふ可しとのことにて直ちに降車客十三名に對し停留を命じ檢疫を行ひつゝあり（大田特電）

▼天安驛警戒

今朝釜山著の連絡船高麗丸に連絡せる北行列車は高麗丸乘客中疑似虎列拉患者を發見しそのため天安驛以北の各驛に於ても降車客に對しては其な檢疫を行ふことゝなり更に列車進行中に於ける乘客の健康狀態に就て監視を行ふ要ありとし天安驛より憲兵上等兵一名同車して京城に向へり（天安特電）

▼總長邸の緊急會議
防疫準備の手配

釜山に於て疑似虎列拉發生の飛電警務總監部に達するや總監部防疫係にては大活動を開始し釜山は素より各驛に對しては檢疫取締上の注意を與へ居り特に水原に對してはそれ〳〵係官を急行せしむると共に古海總長邸に於て隈部警務部長亥角庶務課長其他の各係官出席し今後の善後策について打合を爲し徹宵頗る多忙を極め居たるが若し不幸にして京城に病毒の侵入し來るが如きことあるも防疫の準備は十二分に完備し居れども尚ほ此上ながら府民一般の衞生に注意を希望すと

▼南大門驛の混雜

三十日午後九時南大門驛著の急行列車は虎列拉騷ぎのため水原で四十分間定刻より遲延し九時五十分南大門に著いた是れより先き驛では釜山其他からの急報で警察側との消毒に就いての打合せも濟み三本和田の兩參事はわざ〳〵出張して一瀬驛長と共に驛員を指揮して諸般の準備に忙殺され一方宮舘本町警察署長は衞生主任佐藤警部以下署員十數名を率ゐて臨場消毒の大噴霧器を配置するなど警戒おさ〳〵怠りない、客車六輛小手荷物緩急車三輛を連結した列車が歩廊に著くや下車した二等客十三名三等客百六十八名は開札口に待受けた警察官の檢診をうけて庭の手から逃れたやうに急ぎ足でそれ〳〵市街に散つて了ふ、更にとり下ろした小手荷物百五十個と郵便物百五十個とは大噴霧器から石炭酸の洗禮を受けてプラツトフォームの舖石の上はさながら洗ひ上げたやうだ、折から雷を鳴らして戰場からでも歸つて來たやうに興奮してる

▼大塲專務車掌の談 に『此間の水騷ぎどころぢやありません、此の鐵道初めての騷ぎです何しろ乘客が皆不安を感じて混雜してるものですから大抵なことぢやありません、釜山を出發する時は何も高麗丸にそんな患者が居たといふことは聞いてゐませんから平氣でゐますと天安で疑似患者が一名發生したといふ電報をうけとつたので成歡驛で各方面と打合せをし水原で二等客二十九名三等客六十八名を下ろしたのです、驛内に石塚長官の御家族、新義州の深川府尹なども居られます、それから軍浦場から南大門驛までの間に列車及び乘客の噴霧消毒を行ひ南大門驛からは列車の車輛全部及び乘務員を取替へて北行することゝなります、遲れた四十分は南大門で卅分だけ取返します』云々

●女鳩劇初日盛況

新派和合倶樂部一行にて卅日夜より壽座に開演したる本紙連載小説『女鳩』劇は折柄の雨にも拘らず觀衆續々と詰めかけ午後八時には既に滿員の盛況を呈したるが尚本日は正六時より開幕一座大車輪にて演ず可しと

◉永井氏歡迎會

支那滿洲及び露領西比利亞地方漫遊中なりし早稻田大學教授にして雜誌新日本の主筆たる永井柳太郎氏は歸朝の途次二十九日夜入京朝鮮ホテルに滯在中なるを機とし京城記者團及び早稻田校友會員主催同じく此程來滯京中なる大阪朝日新聞記者井上藤三郎氏をも招待三十一日午後七時より千代本に於て歡迎會を開催の筈なり出席者は京城日報社、朝鮮新聞社、朝鮮公論社、京城通信社孰れかに申込まれたしと會費は五圓當日持參の事

◉朝顏展覽會

京城に於ける朝顏栽培家の發起に係る展覽會は三十一日早朝より明治町東拓隣清香園にて開催の筈なるが當日は京城に於ける栽培業者十八名の秘藏の逸品を出品展覽會を催す由なれば定めて盛會なるべし

◆女鳩初日評

女鳩！日々數萬の讀者の血を沸かしてゐる本紙朝刊連載小説の女鳩は忽然劇となつて現はれ三十日夜から和合倶樂部の一行が壽座に開演することゝなつたその初日を覗いて見る

◇序幕に横濱 の生駒の宅を除く外は原作通り忠實に筋を運んでゐた鬪鬪も原作に倣つた割合に惡も來ずに大體よく出來た、各場面を通じて山形縣の神町驛の宿屋九段坂大村綱俊前、子爵家假裝會場　奧庭の母子密會、大詰の源作内の裏手の場などよかつた役々でいふと須藤の靜男は子爵の從者ではあるが學生であるといふ心持を

◇忘れずに演 つてゐた所がよく、小山の源作は身體が細いせいか、態とも引緊みさうな強い爺さんは思はれなかつたが、それを補ふべく彼の藝は可なり光つてゐた、望月の住江は温順しい内にも犯し難い威嚴を備へた氣丈の女らしい所を見せ、川上の生駒は出番も少ないし際立つて惡を利かせる所もなく飾り

◇儲かる役ではないが神妙にしてゐた、矢野の雛子と若柳の秀子はよく突込んで演り、肥田の大河野子爵は柄もあり鷹揚しもゆつたりとして如何にも氣さくな貴族らしく受取れ、赤上の雛子も仕科は謝妙だつたが臺詞廻しに今少し注意が欲しく坂口の源次は始めから終りまで黒のマントを羽織つて蝙蝠の様に出て一引込み見せ場の少ない損な役だが、それでゐながら歯切れのいゝ東京語の臺詞もよくテキパキした動作に凄味が見ねて手一杯にやつてゐた、一體に今回の女鳩劇に就いては一座は何れも

◇あらゆる力を盡し成功を期してゐる爲めに端役を振れた連中までも些しも投げずにやつてゐるのが何よりだつた

祝天長節

三井物産株式會社京城支店

内鮮出張所所在地

旭川派出員　池田派出員　釧路派出員　斜里派出員　野付牛派出員　砂川木挽工場　小樽支店

室蘭派出員　函館派出員　名古屋支店　大阪支店　穀物肥料部　神戸支店

船舶部　東京出張員　小樽出張員　門司出張員　三池出張員　石炭部　岡山出張員

徳島出張員　阪神出張員　廣島出張員　門司支店　若松出張所　唐津出張所　長崎支店

石炭部長崎支部　三池支店　口ノ津出張所　臺北支店　基隆派出員　臺南支店　打狗出張員

臺中出張員　阿緱派出員　仁川出張所　釜山出張員

外國出張所所在地

大連支店　安東縣出張所　牛莊出張所　奉天出張所　鐵嶺出張所　長春出張所

哈爾賓出張所　浦鹽出張員　天津支店　上海支店　青島出張所　芝罘出張所

漢口支店　香港支店　福州出張所　廈門出張所　廣東出張所　馬尼剌出張所

斯土泥出張所　新嘉坡支店　盤谷出張員　泗水出張員　蘭貢出張員　孟買支店

甲谷他出張員　倫敦支店　里昂出張所　漢堡出張員　紐育支店　南部出張員

西雅圖出張員　桑港出張所　坡土蘭出張員　晩香坡出張員

祝天長佳節

宮内省御用達

明治屋京城支店

満足せしめたり（倫敦電報）

●獨軍降伏

所報に曰く、獨軍の一隊はウオアウ

●羅國細說

對與宣戰内容

にありと述べ且羅國領トランシルバニアに對する不正の處置は强硬なる際を阻せるを說けり（露都電報）

●政友倶樂部内訌

政府與黨三派合同不成立（？）の結果

京へ向へり（門司電話）

渡邊默禪

『九二』御吟味

『住江、お前知らないかね。』
『いゝえ、存じません。』
『だつて、私の部屋に入つたんでせう、お前は。』
『は、入りました。お風呂を召して被爲在るうちに、お呼附けなさいました品を取つて差上げる爲めに、お部屋へ參りました。』
『それ、御覽入つたでせう。その時にお前、どうか爲はしなかつたかね、他の品を。』
『どうか爲なかつたかとは。』
『お前に持つて來てくれと頼んだのは、化粧臺の抽斗に入れといて忘れてゐたオードピツトとシエミングでせう。』
『何と申しますか、舶來の白粉下でございました。』
『腕輪とリングはそれと同じ抽斗へ入れといたんだもの。知らない筈がないぢやありませんか。』
『いゝえ、私しが見ました時には麼物は御座いませんでした。』
『無い譯があるもんですか。それにお金も昨日華倶樂部から歸つて來て支度をさりかへる時に、腕輪と一緒に同じ抽斗に投り込んで、それつきり忘れちまつたのよ。蝶々の刺繡のある古代紫の襤褸だわ、その財囊は……有つたでせう。知つたら知つたといつて頂戴よ。こんなに皆なが心配してゐるぢやありませんか。』

住江と秀子との間に悸うした押問答が始まつたのは、ちやうど其の品が見えないと秀子が言出してから卅分ばかりの後、小間使のお孝を首に邸に居るだけの召使們が、みんな顏色を變へて騷ぎ廻つてゐる那裡だつた。その際は秀子の跡に入つた住江が浴室から出て來たばかりの所を、直と茶の間に呼込まれて、いきなりこんな詮議をうけたのであつた。襖の前後には他の朋輩たちが立つたり座つたりして、目を睜りながら鳴を鎭めて聞いてゐた。

『それでは秀さま。貴女は私しがそのお品を盜りでも致したやうに思し召していらつしやるのですか。』

素直にうけてゐた住江は、餘りこゝに堪らなくなつて、艴然と眉を釣上げた。浴餘りの額に滲む汗は珠になつてほろりと散る。

『盜りでもいたしたやうにつて、そんな曖昧な疑ひ方はしません。もつと分明さ、お前が盜つたんだと、爾う思ひます。疑ひではない、事實爾うなんだもの。』秀子も倩となつた。

『まア。』住江は驚いて、ぶる／＼と身顫ひした。『どうしたらそんな情ないことが被仰られるでせう。』口惜しさうに睨と秀子の顏を見詰めた眼は、忽ちのうちに曇つて來て露までも潤ませた。『秀さま、ようくお考へ遊はしてから、爾ういふお言葉をお出しなさいまし。同じ言過ぎたことでも外のことでございましたら、聞消しにもなられませうが、盜人だの泥棒だのと被仰つたことばかりは、石盤に書いたものを拭取るやうな、そんな手輕な譯にはまゐりません。よろしうございますか。貴女は御主人、私しは召使といふ分隔こそございますけれども、召使だつて其人相應の名譽と申すものが御座います。その名譽はお互ひに重んじなければなりません。いくら御主人だからと申して、その名譽を傷けるやうなことを爲さいましたら、召使の私しとても決して其儘に濟まされはしませんから、貴女に對して失禮なことを致すかも知れません。これを御承知になつて貴女は爾ういふことを被仰るのでございますか。』

諭すやうに凛々しく言てのけた。それを乾笑つて聞いてゐた秀子は、醜だといつた風にふンと小鼻でうけた。

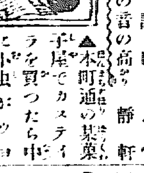
□殘る暑さを

八月廿八日コツパ同人は偶々入京せる公州の烏兎太守を鶯谷の靜陽軒に招して俳筵を開く。午前八時の案内を嚴守せられし太守の『たいき起す山の旅亭や蟲の聲』には遲參の幹事聊か恐縮せざるを得ざりしも魚骨が朝顏の客を謝して馳せつけたると、雄川が水原行を午後に延ばして參會せるとは頗る上出來なりし。此の日偶然にも隣席にありし一叢子は遲れて加はり烏兎子が觀音に『野渡無人舟自横』と鮮やかに揮ひて興を添へたり。席題吟左の如し（コツパ同人記）

▲殘暑
もの蔭に老婢の喰ふ殘暑哉 烏兎
秋暑きぬぎすての浴衣抱く女 一象
秋暑し種胡瓜の色かな 黄丘
小豆引く殘暑畑の臭ひ 同人
秋暑し鳳仙花鉢に萎れたり 同人
濁の夜カンテラ臭き殘暑哉 雄川
金魚浮く池ても返す殘暑 魚骨
背流せば殘暑に燒けしに 優佳
小鳥下りて殘暑の籬に花飛ぶ 靜軒

▲虫
たゝき起す虫の旅亭や蟲蚤 烏兎
草と摑んで蟲籠に入れたり 黄丘
虫の野を出て草の露を拂ふ 同人
石切りの音遠し虫鳴く眞晝 魚骨
虫歸る草闇に灯をさし向ける 靜軒

▲西瓜
手付けし皿の西瓜や魚午 烏兎
たゝき割る西瓜印譜に出しより 同人
井戸を覗きて西瓜下げたり 黄丘
西瓜の大皿若より吹く風 同人
西瓜小屋の欠伸夜風更けたり 同人
清水ぼくり西瓜こりゝ哉 雄川
西瓜割りて網代入と語りけり 魚骨
値踏みせし西瓜の音の高かり 靜軒



▲本町通の某菓子屋でカステラを買つたら中に小虫がウヨ／＼して居たので皆へに行つたら大小言を喰つた時節柄不埒千萬ではないか（悸德商絶滅同盟會員）▲某町の郵便所の事務員さんは時々小包料金など一貫六百匁の料金を一貫二百匁の料金と間違へて取扱て呉れるので便利の事もある（明治生）▲翌日より湯錢問題で一浴四錢は高い結局某浴場では内々湯札十枚二十五錢で浴客を迎へ居る由にて一般に公然値下げする樣有志の錢蔵あり誰か獨り不贊成を唱ふるものかある然るに二十九日朝刊本欄では湯錢を下ぐるより化粧料を節約し其の分を湯錢に加算せよと値下げには不贊成だとの事湯錢と化粧とは全く問題が違ふではないか現在値下げをしつゝある浴場を獨立させ大に同浴場に後援を與へて反對的の喉を揶ふではないか（湯利多賣獎勵生）▲商いものの内で内地人の按摩の採療治料も其一つだ正一時間三十五錢は割合が高い他の職業と比較せば一時間二十錢位が適當だ今の内に値下げせねば足も後へも先へも歩めぬ樣になる盲學校の鮮人は稽古中として五錢で實行して居る彼等が本物の療治する頃は内地人は一層苦境の立場にならねばならぬ今の内反省したがよい（梅の市）▲近時沙里院では玉突きが盛なるため夜明するもの尠からず候之れがため各種の業に影響を及ぼし醫師まで朝寢をするので從つて患者に滿足を與へない我輩は二回も受診を求たが意を果さず候（憤慨生一人）

商況

光州

▲郡守新任反更迭 道書記安昌善、光州郡書記金商[illegible]の國民は今回郡守に任ぜら[illegible] ▲安東郡守柳實熙氏は潭陽に其々轉任を命ぜられたり ▲土地調査[illegible] 年々多額に上れるが其販路は重に光州木浦[illegible]に限らる[illegible] 長に補せられたる豊原俊佐氏は二十[illegible]日出發赴任せしが見送人二百餘名[illegible] 總會閉會後と雖も漸次增收の傾きつ[illegible]一日平均一千圓を降らざりし[illegible]を擧げ得ざるものとせしに電車收入[illegible]せるに伴ふべしと雖も又一面に於て[illegible]社市内金融逼迫の爲め一般の懐合[illegible]

■遊漁具■投網

投網 四分目長 二等鉛岩九百匁付極上麻糸製七圓五十錢 絹糸代用アヤ糸製六圓五十錢 カタン糸製六圓 其他目の大小網の長短等種々有之候

釣道具 投網 其他漁網 製造 御小賣 京城永樂町二丁目 吉備商會 監獄署製品販賣所 釣道具具一式販賣 地方特約店募集

日韓書房 新版報告
英明著 うた姿 定價一圓五十錢 送料十二錢
井關十二郎著 工場法の運用 定價七十五錢 送料十二錢
阪本健一著 英吉利帝國 定價四十五錢 送料十錢
森林太郎著 水沫集 定價一圓五十錢 送料十二錢
朝鮮總督府 普通文官見習雇員試驗問題及解答 定價六十錢 送料六錢
京城南大門町二丁目 電話一四五番 振替口座一一五番

演說會
一演題『小日本より大日本へ』 早稲田大學教授『新日本』主筆 永井柳太郎君
一期日 八月三十一日午後三時
一會場 京城本町一丁目 有樂館
（入場無料）
主催 朝鮮公論社

全國民必讀の問題記事 巡查研究
日本一
世界一の大富國 『日本一』評議員 志賀重昂
平和團設立趣旨 高橋主幹
意外錄 『日本一』評議員 和田垣博士
◇戰禍中の英國銀行……小野主筆
◇有望なる濠洲貿易……一記者
◇日本一酒の酒競べ……酒天童子
◇三越吳服店の內面觀……實業學人
◇東京海上のカイゼル……滄溟漁郎
巡查論 三十頁に亘る巡查八面觀也 研究精察總論して餘蘊なし
◇四國の知事檢評判記……碎雲樓客
◇亞熱帶の一富源島……江川叢
澁澤男に與ふるの書 編輯主任 神長倉眞民
◇寺西の仲裁（助六實歷）……錦城齋典山
◇ネロの最後（暴帝ネロ）……小野文學士
◇千代田の對決（中山大納言）悟道軒圓玉
朝顏の歌……實說朝顏日記
小唄供養……倉藤塘に進む 小杉天外
警官諸君も悉く讀め！
定價二十錢 送料一錢五厘 ◎半年分前金大約一圓八十五錢 東京南北社（振替東京一九一四）

酒類買入帳及酒類賣上帳 紙質優美 小口百枚綴 一冊金四十三錢
持越酒類申告用紙 百枚に付金廿五錢
多數御注文は特に割引可仕候（但し送料は別）
來九月一日より實施の酒類販賣業者是非共設備の制定帳簿出來品有之候何卒御注文願上候
印刷と帳簿は 犬養帳簿製造所 京城旭町二丁目 電話二七九番 振替口座二五九六番

開業廣告
私儀此度宮町に於て名も三吉野と花々敷山海の珍味を取集め多年の經驗に依り美味と御滿足を天秤に脊負精々勉強可仕候間百聞は一見に不如とか兎もあれ御試食御吟味の上幾久敷御愛顧豪り度爲開店御披露以紙上御挨拶申上候 尚料理券發行仕り特に御客樣方の御便宜御斗ひ可申候 猶店の特色は（いろは）なしの食道樂本位に付御家族御同伴に至極便利に御座候
九月一日
會席御料理 仕出し 西洋料理 うなぎ 仁川宮町 電話四〇八番 三吉野事 村上

內科 小兒科 入院隨意 京城日出小學校前 多々見醫院 電話九四〇番

商業登記公告
商號 新設 紙物舖、營業ノ種類 內外國紙物貿易卸賣小賣、營業所 京城府南大門通壹丁目百貳拾四番地、商號使用者ノ氏名住所 京城府茶屋町百參拾貳番地 金聖煥
商號 日出商店、營業ノ種類 內外國雜貨並文房具貿易卸賣小賣、營業所 京城府南大門通壹丁目百貳拾貳番地、商號使用者ノ氏名住所 京城府茶屋町百參拾貳番地 金聖煥
右大正五年八月貳拾八日登記
京城地方法院

預金利子引下廣告
九月一日ヨリ左ノ通リ利率改正仕候
定期預金 年六分
當座預金 百圓ニ付キ日步九厘
小額預金 同上一錢四厘
大正五年八月 忠清北道忠州 株式會社 漢湖農工銀行忠州支店

九月一日新學期 期日切迫 簿記生徒募集 短期 卒業
卒業後は銀行會社商店等へ確實に就職紹介す 規則書要二錢
京城明治町一丁目 京城簿記專修館

▲釀造家に警告▼
愈々新稅法發布と共に釀造の改良進運に鑑み最も精巧新式なる釀造用具を供給して斯界の發展を期する目的を以て今般左記に開店なし釀造家諸方の御便宜を謀り勉強正實を旨とし迅速に貴需に可應候間續々御用命あらん事を切望仕候
釀造用具一式販賣 龍山漢江通十三番地 末原商店 電話四一七番

京日案內
普通 一回前金 三十錢 番外 一回前金 六十錢 匿名一回毎に五錢增 無割引 申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

▼朝鮮全國卸賣と小賣 一部廿五錢 京城本町振替二三三 ウツボヤ書店 75
◎金融 月收御方へ秘密信用融通御報參上可申候 大和町三ノ三一 登與屋 133
鑛山技術員 素養と經驗ある者採鑛掛として招聘す 手當月五十圓以上給す 希望者は左記へ（履歷書添附あれ）京城日報平壤支局宛 146
姙婦產婦預所 ○京城產院（規則申込次第送呈）京城南山町二の三五 電取次一三三九 148
二連獵銃 英國ボーネル製十二番 但し安價にて讓りたし 姓名在社 144
◎小僧入用 年十六七歲前後 市內確なる保證人を要す 本人來談あれ 太平通二丁目 遠藤味噌醬油店 137
◎金融 官公署會社等に在勤の方に信用貸金 月收額の御融通 御一報あれ伺上候 花園町八七 大和屋 140秘
◎店員入用 十五歲より廿歲迄 市內保證人を要す 希望者本人來談あれ 京城 ミノヤ自轉車店 131
▼周易觀相…見料隨意…誠に許せられよ 必ず中る 法螺でなし 永樂町一ノ九商品陳列館通坂中途 均陵庵 123
◎松汀里光州間自働車は太田木浦間の列車に聯絡す 光州加藤自働車運輸部
◎店員 十三四歲より十六七歲位の者四名入用 たし希望の方は本人來談あれ 京城本町一 北內商店 104
◎馬山浦所在 宅地四千坪並洋風建物安價にて賣りたし（姓名仁川支局） 125

鑛山經營 重石買入 金石商會 京城鍾路二の九九 電話一八九九番 ▲鑛物分析並に鑛山測量製圖▼ 560
內科 小兒科 院主 古城倒吉 爲春堂醫院 大和町一丁目（日の出橋下る）（電話九一八番） 598
總督府醫院御用 京城總督府醫院前 電話一五八〇番 山口組
病人用 新案式 輸送車 新著仕候御用命を乞ふ 96
礦物定量分析 京城府太平通（朝鮮公論社左小路） 電話一三四四番 坂元分拆所 95
魔法瓶中瓶取替 ゴム引マント 防水インバ 其他色々 京城本町一丁目 高木旅行用具店 23
英語入學特典 九月四日新學期開始 ABCより教授 上級補缺あり 南大門通一（漢城銀行前）京城青年會 135
鮮語入學特典 九月四日新學期開始 三月修業 京城青年會 134
石油發動機 八馬力、獨逸製 火式精米摩擦機 十臺分、アイデアル 綿繰機 一ケ年間使用現在使用のもの 用法簡易 至急安價讓渡したし 姓名在社 126
廣橋自働車 京城南大門通一丁目 京城春川間 毎日午前八時出發 京春自動車 主務 金正淵 電話二一九番 592組
社員採用 三名 但二十五歲以上 確實なる保證人有る希望者は午後一時より二時半迄に申出あれ 京城黃金町二丁目 シンガー會社京城支店 143
●湯屋讓る 場所大和町二丁目 造作付現狀の儘にて讓り渡したし 詳細の事は本商店に御聞き合せあれ 電話四五、二七番 138
株 有利確實なる現株賣物あり ●公債●株式●現物問屋 京城本町三丁目 三田中支吉商店 電話九九 579
貸家 嘉會洞二一四番地に新築の二階建和洋折衷 九間水道電燈瓦斯等の設備あり 希望者は同家番人に問合あれ（電話五三六番） 147

汽船釜山出帆廣告
○立神丸 門司、神戶、大阪行 月 日後五時出帆
○元山丸 淸津、浦鹽行 月 日後十時出帆
○立神丸 城津、浦鹽行 月 日後十時出帆
○小倉丸 元山、城津、淸津行 月 日後十時出帆
○第三琴平丸 元山、西湖、新浦、城津、淸津行 月 日後六時出帆
○第三琴平丸 門司、宇品、神戶、大阪行 月 日後六時出帆
○住須奈、嚴原、壹岐、博多行 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
○天昇丸
釜山港立新町 本船取扱店 大池回漕部

共同汽船仁川出帆 阿波國共同汽船合名會社
○芝罘、大連行 第一 共同丸 八月三十日後二時入 九月二日前十一時出
朝鮮鐵道主要驛にて大連行は省島行定期船接續運輸取扱仕候と同鐵道にて通し荷物運送取扱可仕候
○城津、淸津、浦鹽行 （元山出帆）
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第一 阪鶴丸 月 日後九時出
第三 共同丸 元山 月 日前入時出
本町一丁目 電話二四〇七番 阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

日本郵船仁川出帆
大連、天津、牛莊行 ○相模丸 九月七日正午出帆 ○高砂丸 九月十七日正午出帆 ○河內丸 九月廿八日正午出帆
仁川港町二丁目 電話十一番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下ノ關、神戶、大阪行
○君が代丸 九月二日後四時出帆
○大有丸 九月七日後四時出帆
○神代丸 九月十二日後四時出帆
○秀吉丸 九月廿一日後四時出帆
仁川港町 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆
○全羅丸 九月九日 釜山發
○京畿丸 九月九日 釜山發
○黃海丸 九月十三日 釜山發
○咸鏡丸 九月三日 釜山發
○慶尚丸 九月一日 元山發
○昌平丸 九月八日 元山發
○鏡城丸 九月四日 元山發
○忠淸丸 九月十五日 元山發
○平壤丸 九月八日 元山發
○永興丸 毎月八回 元山發
○益昌丸 九月一日 釜山發
○江陵丸 毎日 釜山發
○三浦丸 九月六日 釜山發
○統營丸 ○海州丸 ○巨濟丸 毎日 釜山發
○順天丸 三日目毎 木浦發
○慶興丸 五日目 木浦發
○慶興丸 九月一日 木浦發
○公州丸 九月三日 木浦發
○宗信丸 九月五日 仁川發
○江原丸 九月五日 仁川發
○晉州丸 ○漢水丸 九月七日 仁川發
○錦江丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發

大阪商船仁川出帆
○外航所屬航路遠洋航路を除く時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○須磨丸 群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行 九月八日 後五時出帆
安東丸 九月四日
大智丸 九月十四日
×濟州丸 鎭南浦、安東縣行 九月十日 正午出帆
×信濃川丸 木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 九月十四日 後二時出帆
信濃川丸 十月一日
○大智丸 木浦、釜山、關門、神戶、大阪行 九月十二日 後二時出帆
×信濃川丸 鎭南浦、大連行 九月廿七日 後二時出帆
信濃川丸 九月廿九日
◎大智丸 南浦、關門、神戶、大阪行 八月三十日 正午出帆
○福州丸 大連直行 九月六日 正午出帆
△群山丸 群山、釜山、橫濱行 九月十二日 後二時出帆
○淸津、浦潮行 ▲印ハ城津、西湖津寄港 浦潮不寄港（元山出帆）
△安平丸 九月二十六日 後二時出帆
宮島丸 九月二十日
○上海、基隆、打狗行（大連出帆） 城津丸 九月二日 後四時出帆 湖北丸 九月十三日
御注意 京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 內國通運會社支店